

政策4

都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり
(生活環境)

政策 04 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり

施策 01 自然と生活環境の調和

施策の目指す姿

市民、事業者、行政により地球環境に優しい取組と生活環境を守る取組が行われることで、調和のとれた自然環境と生活環境の中で暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標	地球環境に優しい取組のうち主要対策に取り組んでいる市民割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
①	成果 市民アンケート 上がると良い 環境施設課	%	48	50.7	49.8	→	(横ばい) 目標達成度 (中)
評価	(原因) 特に「マイバック、マイバスケットを持参し、不要な包装は断っている」及び「ごみの減量・分別・適正な処理やリサイクルを行っている」の割合が高いことが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】						

指標	市内の自然環境が適切に保全されていると思う市民割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
②	成果 市民アンケート 上がると良い 環境施設課	%	54.1	56.6	58.8	→	(横ばい) 目標達成度 (中)
評価	(原因) コンパクトな市域の中に史跡をはじめ、河川や水田などの自然環境を有していることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】						

指標	快適な生活環境になっていると思う市民割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
③	成果 市民アンケート 上がると良い 環境施設課	%	63.2	65.3	65	→	(横ばい) 目標達成度 (中)
評価	(原因) 騒音、犬・猫の管理、樹木・雑草の繁茂、ごみ集積所の管理等の個々の生活に伴う改善要望はあるものの、改善要望に対して適切に対応していることや広報多賀城、市ホームページ等により啓発を行っていることで、意識改革につながっていることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】						

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 環境啓発の推進

指標①	市民を対象とした環境保全に関する環境講座の参加者数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき															
	代替	業務取得	上がると良い	環境施設課	人/年	1,556	694	681	1,711	傘 (低下)															
評価					(人/年) <table><thead><tr><th>年度</th><th>参加者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>1,556</td></tr><tr><td>R03</td><td>694</td></tr><tr><td>R04</td><td>1,020</td></tr><tr><td>R05</td><td>760</td></tr><tr><td>R06</td><td>681</td></tr><tr><td>R07</td><td>1,711</td></tr></tbody></table>						年度	参加者数	基準	1,556	R03	694	R04	1,020	R05	760	R06	681	R07	1,711	目標達成度 ■ (中)
	年度	参加者数																							
基準	1,556																								
R03	694																								
R04	1,020																								
R05	760																								
R06	681																								
R07	1,711																								
(原因) 環境講座は一定程度開催できたものの、小中学生向けの講座が多く、一般向けの講座が少なかったことで、参加者数の伸びにつながらなかったことが要因と考えられます。																									

基本事業01 環境啓発の推進

指標②	子どもを対象とした環境教育の参加者数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき														
	代替	業務取得	上がると良い	環境施設課	人/年	946	1,004	888	1,027															
評価	環境講座参加者数を除く。				(人/年) <table><thead><tr><th>年度</th><th>参加者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>946</td></tr><tr><td>R03</td><td>1,004</td></tr><tr><td>R04</td><td>1,004</td></tr><tr><td>R05</td><td>1,004</td></tr><tr><td>R06</td><td>888</td></tr><tr><td>R07</td><td>1,027</td></tr></tbody></table>					年度	参加者数	基準	946	R03	1,004	R04	1,004	R05	1,004	R06	888	R07	1,027	傘 (低下)
	年度	参加者数																						
	基準	946																						
R03	1,004																							
R04	1,004																							
R05	1,004																							
R06	888																							
R07	1,027																							
(原因) 小学校の協力により、対象児童に対して環境副読本の提供及びこどもエコ日記の回収を行っているものの、エコ日記の回収数の減少が要因です。				目 標 達成度																				
					■ (中)																			

基本事業02 生活公害等の抑制

指標①	生活公害苦情件数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	その他	環境施設課	件/年	67	131	136	—	—
評価	(原因)騒音や悪臭のほか、隣地の雑草や樹木の繁茂に対する苦情が半数以上を占めており、適切に管理がされていないことが要因と考えられます。				(件/年)					

基本事業02 生活公害等の抑制

指標②	事業者・事業所に関する苦情件数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき												
	社会	業務取得	その他	環境施設課	件/年	24	41	56	—													
評価	(原因)騒音及び雑草や樹木の繁茂に対する苦情が多数を占めており、適切に管理されていないことが要因と考えられます。				(件/年) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>苦情件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>24</td></tr><tr><td>R03</td><td>36</td></tr><tr><td>R04</td><td>32</td></tr><tr><td>R05</td><td>41</td></tr><tr><td>R06</td><td>56</td></tr></tbody></table>					年度	苦情件数	基準	24	R03	36	R04	32	R05	41	R06	56	目標達成度
										年度	苦情件数											
基準	24																					
R03	36																					
R04	32																					
R05	41																					
R06	56																					
										—												

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 水質環境等の向上

指標 ①	河川の水質基準の達成割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき															
	社会	業務取得	その他	環境施設課	%	99	98	99.5	—																
評価	市・県の公共用水域水質測定の結果				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>達成率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>99</td></tr><tr><td>R03</td><td>98</td></tr><tr><td>R04</td><td>99.5</td></tr><tr><td>R05</td><td>99.5</td></tr><tr><td>R06</td><td>99.5</td></tr><tr><td>R07</td><td>99.5</td></tr></tbody></table>						項目	達成率 (%)	基準	99	R03	98	R04	99.5	R05	99.5	R06	99.5	R07	99.5	目標 達成度
	項目	達成率 (%)																							
基準	99																								
R03	98																								
R04	99.5																								
R05	99.5																								
R06	99.5																								
R07	99.5																								
	(原因) 市と県による水質測定を砂押川3か所及び貞山運河1か所で4検体ずつ毎月実施しているほか、定期的に現地確認をしていることが要因と考えられます。				—																				

基本事業03 水質環境等の向上

指標②	特定事業所の水質基準の達成割合				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	業務取得	上がると良い	施設整備課	%	76	93.3	92.9	100	☀ (横ばい)														
評価	(原因) 計画的に特定事業所への指導を実施していることが要因と考えられます。				(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>76</td></tr><tr><td>R03</td><td>93.3</td></tr><tr><td>R04</td><td>80.5</td></tr><tr><td>R05</td><td>92.9</td></tr><tr><td>R06</td><td>92.9</td></tr><tr><td>R07</td><td>100</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	76	R03	93.3	R04	80.5	R05	92.9	R06	92.9	R07	100
					項目	値																		
基準	76																							
R03	93.3																							
R04	80.5																							
R05	92.9																							
R06	92.9																							
R07	100																							
										■ (中)														

政策 04 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり

施策 02 循環型社会の促進

施策の目指す姿

ごみの適切な処理と再資源化の促進により、環境負荷の少ない循環型社会を形成することができています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市民 1 人当たり年間最終処分量（家庭ごみ）				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	環境施設課	kg/年	50	46	46	48	
評価	（原因）環境出前講座、広報多賀城及び市ホームページ等により、ごみの減量・分別について働きかけていることが要因と考えられます。				(kg/年) 					(横ばい)
										目標達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 ごみの適切な処理

指標①	市民1人当たり年間可燃ごみ排出量（家庭ごみ）				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	環境施設課	kg/年	185	180	173	176	
評価	（原因）環境出前講座、広報多賀城及び市ホームページ等により、ごみの減量・分別について働きかけていることが要因と考えられます。									 (向上)
										 目標達成度 (達成)

基本事業01 ごみの適切な処理

指標②	事業系ごみの年間排出量				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	環境施設課	t/年	6,059	5,335	5,443	5,817	
評価	（原因）これまで事業系ごみの減量・分別について啓発を行ってきたことや社会的にもごみの減量につながる取組が進んできていることが要因と考えられます。									 (向上)
										 目標達成度 (達成)

基本事業02 再資源化等の促進

指標①	分別・リサイクルに取り組んでいる市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	環境施設課	%	70.9	72.2	73.3	→	
評価	（原因）環境出前講座、広報多賀城や市ホームページ等によりごみの減量・分別の啓発を行っているほか、社会的にも脱プラスチックをはじめ、ごみの減量につながる取組が進んでいることで、「ごみの減量・分別・適正な処理やリサイクルを行っている」割合が高くなっていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									 (横ばい)
										 目標達成度 (中)

基本事業02 再資源化等の促進

指標②	小型家電回収量				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	環境施設課	kg/年	7,085	10,328	11,824	12,044	
評価	（原因）環境出前講座、広報多賀城及び市ホームページ等により再資源化を促進するため啓発を行っているほか、社会的にもリサイクルの取組が進んできていることが要因と考えられます。									 (向上)
										 目標達成度 (中)

政策 04 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり

施策 03 良好なまちなみの保全

施策の目指す姿

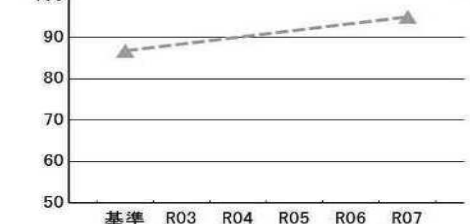
住環境と景観を守る取組が行われることで、緑ある快適なまちなみが形成されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	良好なまちなみの保全に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	87.5	88.7	88.9	➔	
評価	(原因)「多賀城市都市計画マスタープラン」に基づいてまちづくりを進めているとともに、多賀城駅周辺の中心市街地整備が進んだこと、地区計画などのまちづくりのルールが徹底されていることが、現状を維持している要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									 (横ばい)
										 (中)

□基本事業の成果状況と評価

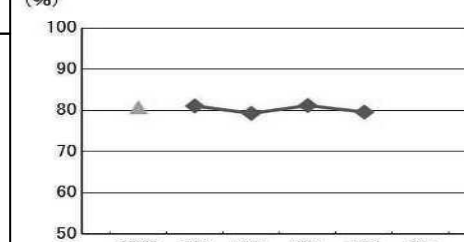
基本事業01 住環境づくりの推進

指標①	住宅の耐震化率				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	業務取得	上がると良い	都市計画課	%	86.8	—	—	95	—														
評価	昭和56年以前建築物が対象。県に準じ住宅・土地統計調査(5年毎)の結果を用いて算定した割合				(%)<table border="1"><caption>耐震化率の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>R03</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th></tr></thead><tbody><tr><td>値</td><td>86.8</td><td>86.8</td><td>88.0</td><td>90.0</td><td>92.0</td><td>95.0</td></tr></tbody></table>						年度	基準	R03	R04	R05	R06	R07	値	86.8	86.8	88.0	90.0	92.0	95.0
	年度	基準	R03	R04							R05	R06	R07											
値	86.8	86.8	88.0	90.0	92.0	95.0																		
価値	（原因）令和6年度に、住宅・土地統計調査の結果が国から公表されましたが、令和7年度に宮城県からの算定方式を参照し当該結果を用いて数値を算出するため、実績値を取得していません。 【前期基準値は、平成30年度に国調査、平成31年度に国公表、令和2年度に数値算出です。】				目 標 達成度 —																			

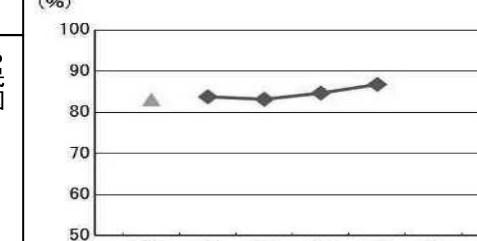
基本事業01 住環境づくりの推進

指標②	耐震改修工事の補助件数（累計）				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき															
	代替	業務取得	上がると良い	都市計画課	件	—	28	35	50																
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計				(件) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>10</td></tr><tr><td>R03</td><td>10</td></tr><tr><td>R04</td><td>19</td></tr><tr><td>R05</td><td>28</td></tr><tr><td>R06</td><td>35</td></tr><tr><td>R07</td><td>50</td></tr></tbody></table>						年度	件数	基準	10	R03	10	R04	19	R05	28	R06	35	R07	50	☀ (横ばい)
	年度	件数																							
	基準	10																							
R03	10																								
R04	19																								
R05	28																								
R06	35																								
R07	50																								
(原因) 固定資産税の納税通知書に併せて全世帯に耐震化促進のための案内を送付したことや、広報多賀城等でも積極的に周知したことが要因と考えられます。					目 標 達成度																				
価					■ (中)																				

基本事業02 公園の保全と整備

指標 ①	公園の維持管理状況に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき															
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市整備課	%	80.8	81.2	79.6	➡	☁ (横ばい)															
評価					 (%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>R03</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値</td><td>80.8</td><td>81.2</td><td>79.6</td><td>81.2</td><td>79.6</td><td>-</td></tr></tbody></table>						項目	基準	R03	R04	R05	R06	R07	実績値	80.8	81.2	79.6	81.2	79.6	-	目標 達成度
	項目	基準	R03	R04	R05	R06	R07																		
実績値	80.8	81.2	79.6	81.2	79.6	-																			
価値	(原因) 定期的な公園パトロールの実施や情報収集等により、異常箇所の早期発見及び早期に修繕を実施したことや樹木の剪定等維持管理を適切に行ってきたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				■ (中)																				

基本事業03 都市景観と都市施設の保全

指標 ①	まちの景観に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	83.2	84.7	86.8	➡	☀ (横ばい)
評価	（原因）用途地域や地区計画における秩序ある良好なまちなみの形成、街路樹や公園等の整備による緑の確保、市民等による花のまちづくりの活動を実施していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									目標 達成度
										■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 都市景観と都市施設の保全

指標 ②	まちの緑化状況に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	82.2	83.1	83.4	➔	
評価	(原因) 開発行為や中高層建築物に関する緑の確保、地区計画による生垣の設置、また、花のまちづくり補助による緑化など都市緑化を推進していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) 100 90 80 70 60 50 基準 R03 R04 R05 R06 R07					 (横ばい)
										目標 達成度 (中)

政策 04 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり

施策 04 都市インフラの保全

施策の目指す姿

インフラが計画的に保全されることで、安全で快適な生活環境を保つことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	都市インフラの保全に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	84.3	86.1	83.7	➔	
評価	(原因) 市内のインフラを適切に維持していることで、市民の利便性が一定程度保たれていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%)					 (横ばい)
										目標 達成度 (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 都市計画の推進

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
①	—	—	—	—	—	—
評価	この基本事業は、都市計画に基づくものであるため、指標は設定していません。					目標達成度 —

基本事業02 道路の保全と整備

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
①	道路の維持管理状況に満足している市民割合	%	74.9	77	72.9	→
評価	(原因) 定期的な市道パトロールの実施や情報収集等により、異常箇所の早期発見及び早期に施設の修繕を実施したことや、舗装補修工事及び道路改良工事により生活道路を維持していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】					 (横ばい) 目標達成度 ■■ (中)

基本事業03 雨水施設の保全と整備

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
①	下水道雨水面の整備率	%	51.7	54.1	54.1	55.3
評価	(原因) 雨水幹線等の事業については、設計及び協議関係を実施していたことが要因です。					 (横ばい) 目標達成度 ■■ (中)

基本事業04 水道水の安全で安定的な供給

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
①	水道管耐震化率	%	34.8	38.3	38.6	37.3
評価	対象となる水道管は、口径75mm以上の配水管です。 (原因) 口径75mm以上の配水管の整備を計画的に行っていることが要因です。					 (横ばい) 目標達成度 ■■ (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業05 生活交通ネットワークの保全

指標①	市内を円滑に移動できると思う市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	77	79	77.8	→	☀ (横ばい)
評価	(原因) 市内の道路整備が計画的に進捗していることや、 地域公共交通の利便性を維持していることが要因と考えら れます。 【統計誤差の範囲内です。】									目標 達成度 ■ (中)

基本事業05 生活交通ネットワークの保全

指標②	公共交通の平均利用者数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	社会	業務取得	その他	都市計画課	人/日	12,522	10,258	10,235	—	---
評価	多賀城駅、国府多賀城駅及び下馬駅の乗降客数並びに市内 運行バスの乗客数の合計 (原因) 全国的なリモートワークの普及、少子高齢化、日 常生活における自動車利用の普及などの社会変化が複合的 に絡み合ったことが要因と考えられます。									目標 達成度 ---

政策5

地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり
(産業活気)

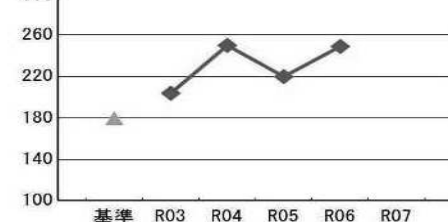
政策 05 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり

施策 01 農業の振興

施策の目指す姿

農業生産額が増加し、農業所得が向上することで、農業を将来にわたり希望を持って取り組む産業として継承することができています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	農業総生産額				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	百万円	180	220	249	－	 (向上)
評 価	指標は2か年前の県統計実績値				(百万円) 					
	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、主食用米の需給バランスおよび価格が感染拡大前の数値へ回復傾向にあることが要因と考えられます。									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 農地の保全

指標①	遊休未利用農地面積				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	産業振興課	ha	0.8	0.8	0.8	0.8	(横ばい)
評価	(原因) 計画的な農業経営を実践している認定農業者をはじめとした担い手が、耕作困難となった農地を積極的に受託し、遊休未利用農地の発生防止に努めることにより、現状維持されていることが要因と考えられます。				基準 R03 R04 R05 R06 R07					目標達成度 (達成)

基本事業01 農地の保全

指標②	農業水利施設の不具合件数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	産業振興課	件/年	0	0	0	0	(横ばい)
評価	(原因) 宝堰加瀬溜井管理組合が主体となり維持管理に努め、定期点検や維持補修の実施により故障等の未然防止が図られ、良好な状態を維持できていることが要因です。				基準 R03 R04 R05 R06 R07					目標達成度 (達成)

基本事業02 農業経営基盤の強化

指標①	農地集積率				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	産業振興課	%	56.7	69.4	69.4	70	(横ばい)
評価	担い手耕作面積/ほ場整備対象農用地面積				基準 R03 R04 R05 R06 R07					目標達成度 ■■■ (高)

基本事業02 農業経営基盤の強化

指標②	主食用米からの転作作付面積				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	産業振興課	ha	44.9	115	90.4	100	(横ばい)
評価	(原因) 大豆の転作面積は増加したものの主食用米の作付面積がそれを上回る増加となったことが要因と考えられます。				基準 R03 R04 R05 R06 R07					目標達成度 ■■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 農業担い手の育成支援

指標①	担い手農業者数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	産業振興課	人	61	64	57	61	(横ばい)
評価	(原因) 高齢化により担い手農業者が減少したことが要因と考えられます。									目標達成度
										■ (高)

基本事業03 農業担い手の育成支援

指標②	農業生産組織数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	産業振興課	組織	4	4	4	5	(横ばい)
評価	(原因) 社会情勢の変化や地域の実情をふまえると、個人経営から組織経営へ移行することに不安を感じる農業者も多く、新たに組織化へ踏み切る経営体が現れないことが要因と考えられます。									目標達成度
										■ (中)

政策 05 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり

施策 02 商工業の振興

施策の目指す姿

産業の成長と新たな挑戦を支えることで、地域の商工業が活性化し、意欲と希望のあるなりわいを支えることができています。

施策の成果状況と評価

指標①	市内総生産額(第二次産業)				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	億円	299	324	320	—	
評価	指標は2か年前の県統計実績値				(億円)					☀ (向上)
	(原因)復興需要の収束と資材や人件費の高騰により建設業の業績低下がみられるものの、製造業の生産額が増加していることが要因です。									目標達成度 ---

指標②	市内総生産額(第三次産業※公務除く)				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	億円	1,061	1,131	1,168	—	
評価	指標は2か年前の県統計実績値を基に第三次産業から公務を除いた値				(億円)					☀ (向上)
	(原因)新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、東日本大震災による影響から回復している業種が多くみられることが要因と考えられます。									目標達成度 ---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域商業の活性化

指標①	食料品や日用品を市内で購入している市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	産業振興課	%	94.4	92.5	92.3	→	(横ばい)
評価										目標達成度
	(原因) オンラインショッピング等の活用が定着した中でも、市内小売店舗の充実により減少幅が抑制されたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									(達成)

基本事業01 地域商業の活性化

指標②	市内の飲食店を利用する市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	産業振興課	%	63.6	59.4	59.2	→	(横ばい)
評価										目標達成度
	(原因) 物価高騰による利用控えの影響が要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									(中)

基本事業02 商工業経営力の向上

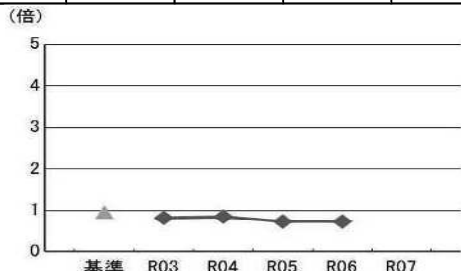
指標①	市内の事業者数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	事業者	1,644	1,636	1,644	—	(横ばい)
評価										目標達成度
	(原因) 物価高騰や人材不足の影響を大きく受けた建設業が減少しましたが、宿泊・飲食サービス業をはじめとする多くの業種で増加したことが要因と考えられます。									—

基本事業03 起業・挑戦の促進

指標①	市の創業支援を受けて創業した人の数（累計）				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	産業振興課	人	—	4	12	25	(横ばい)
評価										目標達成度
	(原因) 創業支援事業を通じ、創業の機運醸成を行っているものの、実際に創業に至るまでには準備等にある程度の期間を要することが要因と考えられます。									(中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 就労環境向上の促進

指標 ①	有効求人倍率				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	倍	0.97	0.73	0.73	－	
評 価	塩釜公共職業安定所管内における当該年度3月時点の率				(倍)  目 標 達成度 —					
	(原因) 物価の高騰等による影響で求人数が減少していることが要因と考えられます。									

政策 05 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり

施策 03 地域資源を活用した賑わいの創出

施策の目指す姿

本市ならではの魅力的な資源の付加価値を高めることで、観光客が増加し、賑わいを創り出すことができています。

施策の成果状況と評価

指標①	まちに賑わいがあると感じる市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	市民文化創造課	%	27.5	33.3	37.7	→	
評価	(原因) 多賀城創建1300年記念事業や多賀城碑の国宝指定等によりメディア等で本市が取り上げられる機会が多くなり、また、様々な事業を実施したことにより市民や本市を訪れた多くの方々がイベント等に参加する機会が増加したことが要因と考えられます。									(向上)
										目標達成度 (達成)

指標②	観光客入込数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	市民文化創造課	千人/年	651	728	807	670	
評価	暦年での人数。県観光統計実績値 (原因) 多賀城創建1300年記念事業や多賀城碑の国宝指定、多賀城南門の復元に伴う関連施設の入込数が増加したことが要因と考えられます。また、4月から6月まで東北歴史博物館で開催された「世界遺産 大シルクロード展」に7万人を超える来場者があったことも要因と考えられます。									(向上)
										目標達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 観光受入体制の構築

指標 ①	観光客の満足度				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	市民文化創造課	%	73	92.6	89.8	→	
評価	(原因) 満足度は令和5年度から減少しましたが、観光客入込数や各イベントの来場者が増加していることもあって、これまで以上に多様な視点によって評価されたことが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和3年度です。】				(%)					(向上)
										目標達成度 (達成)

基本事業02 地域資源の付加価値創造

指標 ①	新たな魅力が創出された地域資源等の個数（累計）				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	市民文化創造課	個	—	5	5	5	
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計 (原因) 指標の増加はありませんでしたが、既に目標を達成しています。これは、多賀城市観光協会が基軸になって、観光業以外の他業種団体等との交流により、地域資源に新たな魅力が創出されるよう調整したことが要因と考えられます。なお、多賀城創建1300年記念事業として、地域資源をブラッシュアップする種まきとなる取組を行ったことに加え、宮城県と連携して特別史跡多賀城跡や市内の歌枕等を経由する宮城オルレ多賀城コースの造成に向けた調整を進め、新たな魅力創出に向けた取組を進めています。				(個)					(横ばい)
										目標達成度 (達成)

政策6

地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり
(地域創生)

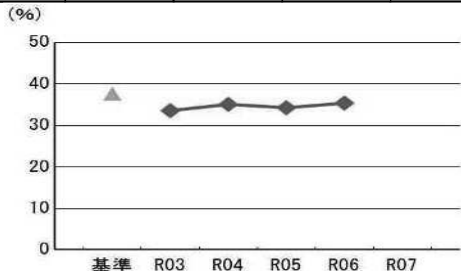
政策 06 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり

施策 01 地域経営の振興

施策の目指す姿

地域の自治活動などの公益的活動に多くの市民が参加し、自立的で継続的な地域経営が行われ、地域課題の解決やまちの良さの向上が図られることで、人とまちが共に輝く地域づくりを進めることができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	地域自治活動に参加している市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	37.7	34.3	35.4	➔	
評価	(原因) 自治会・町内会等と地域課題に対する意見交換や勉強会を行い、自治活動への意識を高めていますが、仕事や育児に追われる共働き世帯の増加により、近隣との関係が希薄となる中で、活動に参加する機会が減少していること等が要因と考えます。 令和6年度は令和5年度より高く、回復傾向にあります。 【統計誤差の範囲内です。】				 (%) 基準 R03 R04 R05 R06 R07					 (横ばい)
										目標 達成度  (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域経営の基盤構築

指標①	地域経営の仕組みや体制の構築に向けた協議等の回数（累計）				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき												
	代替	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	回	—	27	42	30													
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計				(回) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R03</td><td>5</td></tr><tr><td>R04</td><td>12</td></tr><tr><td>R05</td><td>27</td></tr><tr><td>R06</td><td>42</td></tr><tr><td>R07</td><td>30</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	R03	5	R04	12	R05	27	R06	42	R07	30	
	年度	実績値																				
R03	5																					
R04	12																					
R05	27																					
R06	42																					
R07	30																					
	(原因)それぞれの自治会・町内会での取組、課題等について、既存の会議を活用し、情報を共有することができたことが要因です。									目標達成度												

基本事業02 自治会・町内会活動の促進

指標①	自治会・町内会活動の必要性を理解している市民割合				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	37.9	37.2	34.9	➡															
評価	(原因) 仕事や育児に追われる共働き世帯の増加により、近隣との関係が希薄となる状況にあることから、自治会・町内会活動が、暮らしやすい生活の場づくりに役立っていると感じる機会が減少したこと等が要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) <table border="1"><thead><tr><th>年次</th><th>基準</th><th>R03</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値</td><td>37.9</td><td>37.2</td><td>37.2</td><td>34.9</td><td>37.2</td><td>34.9</td></tr></tbody></table> (横ばい)					年次	基準	R03	R04	R05	R06	R07	実績値	37.9	37.2	37.2	34.9	37.2	34.9	目標達成度
										年次	基準	R03	R04	R05	R06	R07								
実績値	37.9	37.2	37.2	34.9	37.2	34.9																		
価値										■ ■ ■ (中)														

基本事業02 自治会・町内会活動の促進

指標②	自治会・町内会の加入率				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき												
	代替	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	%	85.1	82.4	83.4	86	(横ばい)												
評価	(原因)「自治会・町内会活動の必要性を理解している市民割合」が低い状況にあることが要因と考えられます。				(%) <table><thead><tr><th>年次</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R03</td><td>85.1</td></tr><tr><td>R04</td><td>82.4</td></tr><tr><td>R05</td><td>82.4</td></tr><tr><td>R06</td><td>83.4</td></tr><tr><td>R07</td><td>83.4</td></tr></tbody></table> 基準 R03 R04 R05 R06 R07					年次	実績値	R03	85.1	R04	82.4	R05	82.4	R06	83.4	R07	83.4	目標達成度
										年次	実績値											
R03	85.1																					
R04	82.4																					
R05	82.4																					
R06	83.4																					
R07	83.4																					
									(中)													

政策 06 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり

施策 02 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進

施策の目指す姿

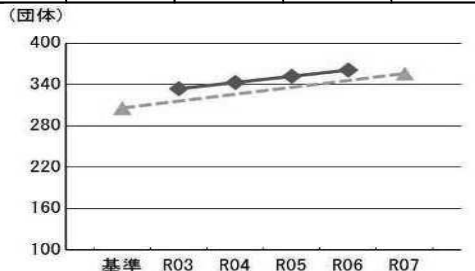
市民活動団体や企業など多様な主体との連携や協働により、活動の輪が広がることで、誰もが暮らしやすいまちを形成することができています。

施策の成果状況と評価

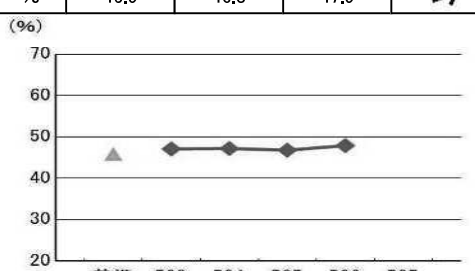
指標 ①	多様な主体がまちづくりに関わっていると思う市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	42.5	40.6	41.3	➔	
評価	(原因) 多様な主体がまちづくりに関わっている機会が増えてきてはいるものの、「新型コロナウイルス感染症の影響」があった以前より、その機会は少ない状況にあることが要因と考えられます。指標となる市民割合は、令和6年度まで微増を続けています。 【統計誤差の範囲内です。】				(%) 基準 R03 R04 R05 R06 R07					(横ばい)
										目標達成度 ■■■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

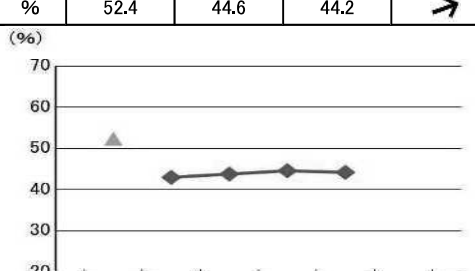
基本事業01 市民活動・ボランティア活動の支援

指標①	団体情報ファイルに登録されている市民活動団体数				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	団体	306	352	361	356	
評価	各年度末の数値。登録団体は近隣2市3町の団体を対象				(団体)  ☀ (向上)					
	(原因)文化・芸術、保健福祉等の分野で登録団体が増加しました。市民活動サポートセンターでの相談対応を経て、新たな取組を始めた団体があったことが要因と考えられます。									

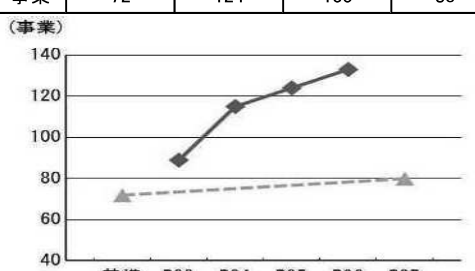
基本事業01 市民活動・ボランティア活動の支援

指標②	市民活動等への参画意思のある市民割合				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	45.9	46.8	47.9	➡	
評価	(原因)各世代の方々の市民活動、NPO活動、ボランティア活動などに対する関心の高いことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%)  基準 R03 R04 R05 R06 R07					☀ (横ばい)
										目標 達成度
										■ (中)

基本事業02 共生社会の推進

指標①	性別や国籍等で差別されず、人権が尊重されるまちだと思える市民割合				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	52.4	44.6	44.2	➡	
評価	(原因)ポスターやチラシ等による啓発をしているものの「わからない」との回答が4割近くを占めている状況です。多様複雑化している課題でもあるため、性別や国籍等で差別されず、人権が尊重されているまちだと理解できるような機会が不足していることが要因と考えられます。				(%) 					☔ (低下)
					目 標 達成度 ■■■ (中)					

基本事業03 職員の協働実践意識の醸成

指標①	市民参画や協働を取り入れている事業数				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標の うごき														
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	事業	72	124	133	80															
評価	(原因) 市民が主体的に関わる取組や、市、市民、市民活動団体等が対等な立場で協力し、各種事業に取り組むことができたことが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】				(事業)  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>72</td></tr><tr><td>R03</td><td>124</td></tr><tr><td>R04</td><td>133</td></tr><tr><td>R05</td><td>133</td></tr><tr><td>R06</td><td>133</td></tr><tr><td>R07</td><td>80</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	72	R03	124	R04	133	R05	133	R06	133	R07	80	☀ (向上)
										項目	値													
基準	72																							
R03	124																							
R04	133																							
R05	133																							
R06	133																							
R07	80																							
						目 標 達成度 (達成)																		

政策 06 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり

施策 03 地域資源を活用した市民文化の創造

施策の目指す姿

本市ならではの地域資源がいかされることで、このまちへの愛着や誇りといったシビックプライドが醸成され、市民が主体的に創造的な活動を行おうとする環境を育むことができます。

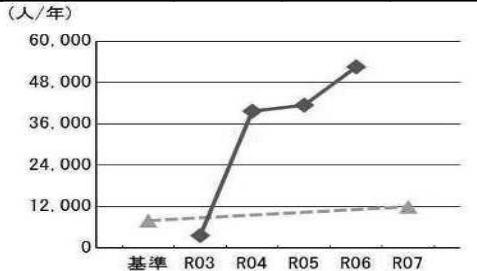
施策の成果状況と評価

指標①	暮らしの中に多賀城らしさを感じる市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	市民文化創造課	%	22.8	25.7	30.5	➔	
評価	(原因) 多賀城創建1300年を迎えた令和6年において、多彩な多賀城創建1300年記念事業を実施し、併せてプロモーションを行った結果、テレビやマスコミに数多く取り上げられ、多賀城の魅力が宮城県内はもとより、東北、そして、全国に発信されたことが要因と考えられます。									(向上)
										目標達成度 (達成)

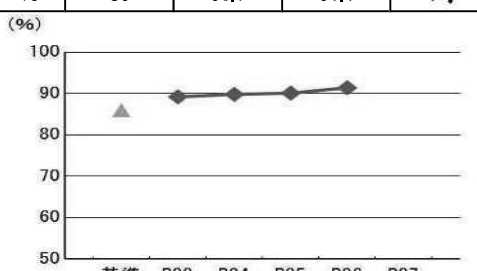
指標②	多くのことにチャレンジできるまちだと思える市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	市民文化創造課	%	18.6	21.7	27.5	➔	
評価	(原因) 多賀城創建1300年を迎えたことを機に、多様な主体による多賀城創建1300年記念のイベント実施や、新たな商品開発などが行われたこと、高橋地区や下馬地区、中央地区などにおいて、市民や地域が主体となって地域を応援したい、盛り上げたいと思う人々が集い、にぎわいを創出するイベントが開催されるなど、様々な挑戦につながる環境が醸成されたことが、要因と考えられます。									(向上)
										目標達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

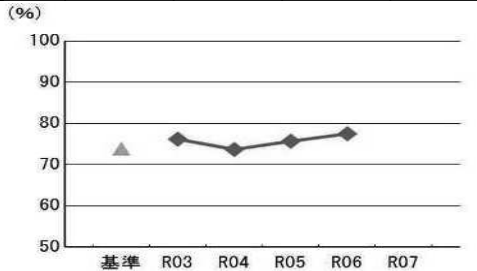
基本事業01 まちの魅力発見の推進

指標①	歴史文化資源活用事業参加者数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	市民文化創造課	人/年	7,976	41,445	52,538	12,000	(向上)
評価	(原因) 多賀城創建1300年を迎え、多賀城創建千三百年記念式典をはじめ、特別史跡多賀城跡を中心に、歴史文化資源を活用する事業を多数実施したことが、要因と考えられます。									(達成)
										(達成)

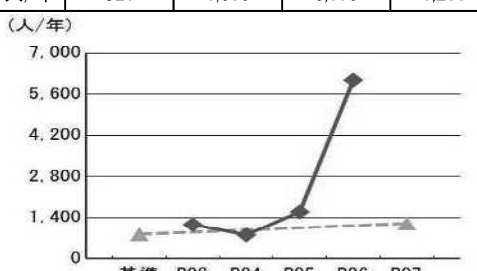
基本事業02 まちづくり情報の共有と発信

指標①	まちの情報を多様な媒体から得ている市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	86	90.1	91.4	➔	(向上)
評価	(原因) 広報多賀城から情報を得ているという回答が最も高く7割を超えており、次いで自治会・町内会の回覧板、テレビ、議会だより、新聞、市ホームページ、市公式LINEの順となっています。市民が自分に合った媒体で市から情報を得ることができるよう多様な媒体を設けていることが要因と考えられます。									(達成)
										(達成)

基本事業02 まちづくり情報の共有と発信

指標②	まちづくりへの意見を伝える機会や手段に満足している市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	73.9	75.7	77.5	➔	(横ばい)
評価	(原因) 窓口や電話での問合せ対応をはじめ、市政提言箱「さざんか」、電子メールや市ホームページのメールフォーム等の問合せ環境を整備していることが、現状を維持している要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									(中)
										(中)

基本事業03 ふれあい交流の促進

指標①	ふれあいの場・機会への参加者数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	市民文化創造課	人/年	821	1,603	6,079	1,200	(向上)
評価	(原因) 多賀城創建1300年を迎え、シビックプライド醸成につながる市民参加型の関連事業を多数実施し、また、児童クラブや専門学校等の多様な主体と連携して行ったことが、要因と考えられます。									(達成)
										(達成)

政策7

縮減社会への対応 持続可能な行財政経営
(行財政経営)

政策 07 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営

施策 01 適正な事務の執行と行政サービスの提供

施策の目指す姿

行政事務が適正に執行され、市民からの理解と信頼の得られるサービスを提供することができています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市民からの理解と信頼の得られる行政サービスが提供されていると思う市民割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	総務課	%	70.9	73.2	76.4	➔	
評価					(％) 					 (向上)
	(原因) 令和5年度と同様に行政事務が適正に執行されたことが要因と考えられます。									目標 達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 適正な契約事務の執行

指標①	入札契約監視委員会の改善事項数				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	業務取得	下がると良い	財政課	件/年	0	0	0	0															
評価	入札契約監視委員会は、令和2年度から設置しています。				(件/年) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>R03</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th></tr></thead><tbody><tr><td>改善事項数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></tbody></table>					項目	基準	R03	R04	R05	R06	R07	改善事項数	0	0	0	0	0	0	
	項目	基準	R03	R04						R05	R06	R07												
	改善事項数	0	0	0						0	0	0												
(原因)関係法令に基づき入札及び契約手続きを適正に実施していることやこれまでの入札制度の改善による成果が要因と考えられます。				目標達成度																				

基本事業02 適正な会計事務の執行

指標①	例月出納検査の指導件数割合				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき														
	代替	業務取得	下がると良い	会計課	%	0.03	0.01	0.09	➡															
評価	(原因) 会計伝票処理の電子決裁移行期において、システム操作や処理手順に不慣れであったことが要因と考えられます。				(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>0.01</td></tr><tr><td>R03</td><td>0.01</td></tr><tr><td>R04</td><td>0.01</td></tr><tr><td>R05</td><td>0.09</td></tr><tr><td>R06</td><td>0.09</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	0.01	R03	0.01	R04	0.01	R05	0.09	R06	0.09	R07	-	☁ (横ばい)
										項目	値													
基準	0.01																							
R03	0.01																							
R04	0.01																							
R05	0.09																							
R06	0.09																							
R07	-																							
									■ (高)															

基本事業03 適正な選挙事務の執行

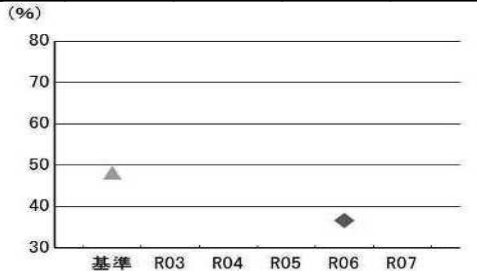
指標 ①	選挙に関する事務処理ミス・トラブル件数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき														
	成果	業務取得	下がると良い	選挙管理委員会事務局	件/年	0	0	0	0															
評 価	(原因) 事務従事職員説明会で適切な説明を行ったことや 選挙機器を配備したことが要因と考えられます。				(件/年) <table border="1"><caption>選挙に関する事務処理ミス・トラブル件数 (推定値)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>件数 (件/年)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>0.5</td></tr><tr><td>R03</td><td>1.0</td></tr><tr><td>R04</td><td>0.5</td></tr><tr><td>R05</td><td>0.5</td></tr><tr><td>R06</td><td>0.5</td></tr><tr><td>R07</td><td>0.5</td></tr></tbody></table>					項目	件数 (件/年)	基準	0.5	R03	1.0	R04	0.5	R05	0.5	R06	0.5	R07	0.5	 (横ばい)
										項目	件数 (件/年)													
										基準	0.5													
R03	1.0																							
R04	0.5																							
R05	0.5																							
R06	0.5																							
R07	0.5																							
目 標 達成度																								
					 (達成)																			

基本事業03 適正な選挙事務の執行

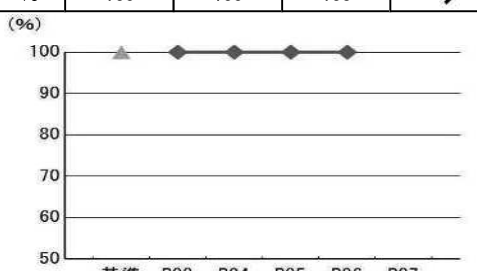
指標②	選挙の投票率（衆議院）				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき								
	社会	業務取得	その他	選挙管理委員会事務局	%	53.8	—	49.58	—									
評価	（原因）有権者（市民）の政治・社会に対する関心が低くなっていることが要因と考えられます。				(%) <table border="1"><caption>投票率データ</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>53.8</td></tr><tr><td>R03</td><td>55.8</td></tr><tr><td>R06</td><td>49.58</td></tr></tbody></table>					項目	値 (%)	基準	53.8	R03	55.8	R06	49.58	目標達成度
										項目	値 (%)							
基準	53.8																	
R03	55.8																	
R06	49.58																	

□基本事業の成果状況と評価

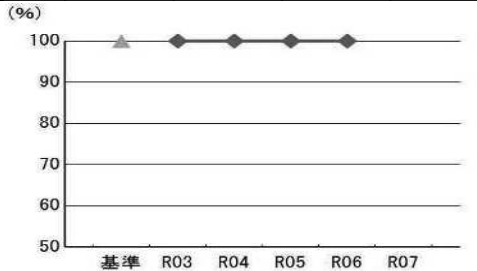
基本事業03 適正な選挙事務の執行

指標⑦	選挙の投票率（市長）				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	社会	業務取得	その他	選挙管理委員会事務局	%	48.27	—	36.67	—	
評価	(原因) 有権者(市民)の政治・社会に対する関心が低くな てきていることが要因と考えられます。									目標 達成度

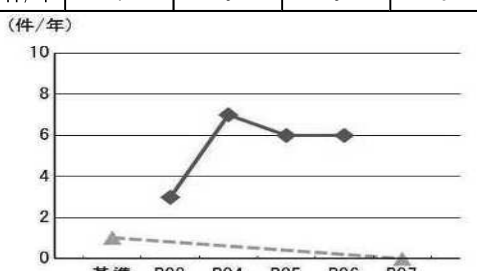
基本事業04 公正な監査事務の執行

指標①	定期監査指摘事項等の改善率				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	監査委員事務局	%	100	100	100	→	
評価	(原因) 措置状況の報告を求めることを徹底し、改善を促 していることが要因と考えられます。									目標 達成度
										 (横ばい)

基本事業04 公正な監査事務の執行

指標②	例月出納検査指摘事項等の改善率				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	監査委員事務局	%	100	100	100	→	
評価	(原因) 改善内容の報告を求めることで改善を促している ことが要因と考えられます。									目標 達成度
										 (横ばい)

基本事業05 保有情報の適正な管理

指標①	情報漏えい事件数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	企画課 I C T 推進室	件/年	1	6	6	0	
評価	(原因) 受け付けた申請書類の管理、書類の送付やメール の送信の際の確認体制に不備があったことなどが要因です 。									目標 達成度
										 (低下)

政策 07 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営

施策 02 組織・人事マネジメントの推進

施策の目指す姿

組織力と職員力が向上し、発揮されることで、めまぐるしく変化する社会環境と、多様化する行政課題に対応することができています。

施策の成果状況と評価

指標①	職場にチームワークがあり、活気に満ちていると思う職員割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき														
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	70.1	73.4	72.8	➔	☀ (横ばい)														
評価	(原因) 育成評価制度の継続的な運用を行うことによって人材育成基本方針の求められる多賀城市職員像が意識・習得・実践されたため、職員間での連携を深めて業務を進める取組が推進されたことが要因と考えられます。一方で、令和5年度と比較して実績値が低下したのは、物価高騰等の影響に伴い新たな対応が発生し、負担感が大きくなったことによるものと考えられます。				(%) <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>70.1</td></tr><tr><td>R03</td><td>73.4</td></tr><tr><td>R04</td><td>77.0</td></tr><tr><td>R05</td><td>73.4</td></tr><tr><td>R06</td><td>72.8</td></tr><tr><td>R07</td><td>72.8</td></tr></tbody></table>						年度	実績値 (%)	基準	70.1	R03	73.4	R04	77.0	R05	73.4	R06	72.8	R07	72.8
					年度	実績値 (%)																		
基準	70.1																							
R03	73.4																							
R04	77.0																							
R05	73.4																							
R06	72.8																							
R07	72.8																							
					目標達成度 ■■■ (高)																			

指標②	組織・職員が、市民・地域の問題や行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できていると思う職員割合				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき														
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	73.1	74.8	78.6	➔	☀ (横ばい)														
評価	(原因) 新たな行政課題の増加や突発的な対応が求められる事案が増加している中であっても、行政評価や育成評価制度の運用によって職員の目的意識が醸成され、改善・解決のための様々な取組が推進されたことが要因と考えられます。				(%) <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>73.1</td></tr><tr><td>R03</td><td>74.8</td></tr><tr><td>R04</td><td>74.8</td></tr><tr><td>R05</td><td>74.8</td></tr><tr><td>R06</td><td>78.6</td></tr><tr><td>R07</td><td>78.6</td></tr></tbody></table>						年度	実績値 (%)	基準	73.1	R03	74.8	R04	74.8	R05	74.8	R06	78.6	R07	78.6
					年度	実績値 (%)																		
基準	73.1																							
R03	74.8																							
R04	74.8																							
R05	74.8																							
R06	78.6																							
R07	78.6																							
					目標達成度 ■■■ (高)																			

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 人材の育成

指標①	研修受講等によって、能力等の向上が図られたと思う職員割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	69.6	73.4	74.4	➔	
評価	(原因) 研修受講による能力の向上だけでなく、日常業務を通じた自己研鑽やメンター制度を含めた上司・先輩等からのOJT等による育成環境が機能していることが要因と考えられます。									 目標達成度 (高)

基本事業02 組織力の向上と適正な人事管理

指標①	能力等を発揮し、意欲的に業務に取り組める職場だと思う職員割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	73.1	72.2	76.4	➔	
評価	(原因) 行政評価や育成評価制度の継続的な運用を行うことによって人材育成基本方針の求められる多賀城市職員像が意識・習得・実践されたため、成長する意欲を持ち、課題に挑戦する意識が醸成され、積極的な業務への取組が推進されたことが要因と考えられます。									 目標達成度 (高)

基本事業03 安全・安心に働ける環境の確保

指標①	健康で安心して働くことができると思う職員割合				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	72.8	74.8	80.6	➔	
評価	(原因) ハラスメント防止研修やメンター制度の実施により、職場環境改善に対する意識醸成・実践や相談体制が確保されたことで、職員の心理的安全性が高まったことが要因と考えられます。									 目標達成度 (高)

基本事業03 安全・安心に働ける環境の確保

指標②	公務中に発生した労働災害件数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	総務課	件/年	5	1	1	0	
評価	(原因) 公用車の運行に伴う事故の防止を始めとして、公務中における事故や怪我の防止に対する職員の高い意識が組織内で広く浸透していることが要因と考えられます。									 目標達成度 (高)

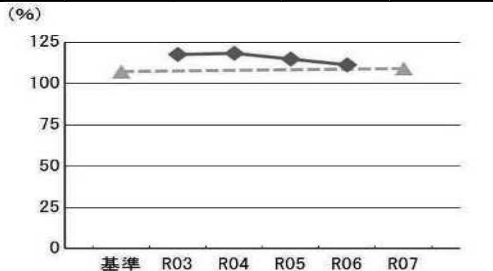
政策 07 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営

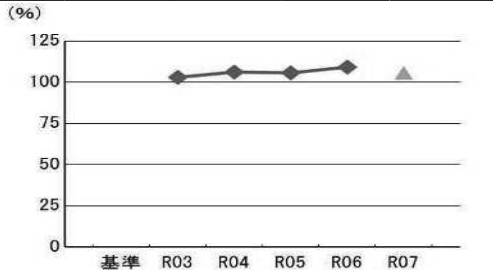
施策 03 健全な企業経営の推進

施策の目指す姿

能率的な企業経営が発揮されることで、将来にわたり持続可能な事業運営を行うことができています。

施策の成果状況と評価

指標①	経常収支比率（水道事業）				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	107.3	114.8	111.3	109.1	 (向上)
評価	(原因) 令和2年度に水道料金の減額改定を行ったため収益は減少していますが、宮城県仙南・仙塩広域水道及び仙台分水の供給料金が引き下げられたことにより、費用が減少したことが要因です。									目標 達成度
										 (達成)

指標②	経常収支比率（下水道事業）				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	—	105.7	109.2	105.7	 —
評価	令和2年度から企業会計方式へ移行したことから、基準値を「—」としています。									目標 達成度
										 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 健全な水道事業経営の維持

指標①	料金回収率				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	101.8	100.2	95.9	103.7	傘 (低下)
評価	(原因) 物価高騰対策に係る減免実施により給水収益が減少したため、数値が下がっていますが、減免の影響を除いた場合の数値は105.2%となります。令和2年度に水道料金の減額改定を行ったことにより、給水収益が減少したことが要因です。									目標達成度 ■ (中)

基本事業01 健全な水道事業経営の維持

指標②	企業債残高対給水収益比率				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	企業経営課	%	183	196.9	202.9	188.4	傘 (低下)
評価	(原因) 物価高騰対策に係る減免実施により給水収益が減少したため、数値が上昇しましたが、減免の影響を除いた場合の数値は186.4%となります。令和2年度に水道料金の減額改定を行ったことにより、給水収益が減少したことが要因です。									目標達成度 ■ (中)

基本事業02 健全な下水道事業経営の維持

指標①	経費回収率				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	85.2	90	87.9	100	太陽 (向上)
評価	(原因) 企業債残高の減少に伴い支払利息が減少したこと等が要因です。									目標達成度 ■ (中)

基本事業02 健全な下水道事業経営の維持

指標②	企業債残高対事業規模比率				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	企業経営課	%	719	619.5	536.9	640.2	太陽 (向上)
評価	(原因) 企業債の計画的な発行や償還に努めた結果、企業債残高が毎年減少していることが要因です。									目標達成度 ■ (達成)

政策 07 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営

施策 04 環境変化に対応した行財政経営の推進

施策の目指す姿

行財政経営資源が適切に把握、投資されることで、時勢の変化に対応した効果的・効率的な行財政経営を行うことができます。

施策の成果状況と評価

指標①	効果的・効率的なまちづくりが進められていると思う職員割合				単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	企画課	%	67.2	75.9	71.9	➡	 (横ばい)
評価	(原因) 縮充の基本方針のもと、限られた行財政資源を効果的・効率的に投資されており、事務のデジタル化を積極的に活用する等、変化に対応した行財政経営を行っていることが要因と考えます。									
					 (高)					

□基本事業の成果状況と評価

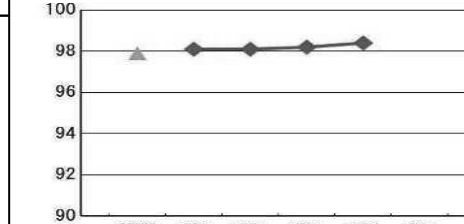
基本事業01 行政評価による事業のマネジメント

指標①	行政評価の考え方を意識して事業を推進している職員割合			単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	企画課	%	94.1	94.1	95.6	➡
評価	(原因)職員を対象とした行政評価の研修等を実施しており、また、行政評価によるPDSマネジメントサイクルの仕組みが職員に定着してきたことが要因と考えられます。				(%) 基準 R03 R04 R05 R06 R07				☀ (横ばい)
									目標達成度
									🏠 (達成)

基本事業02 健全な財政の維持

指標①	単年度基礎的財政収支（プライマリーバランス）			単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき															
	成果	業務取得	上がると良い	財政課	百万円	4,189	409	1,055	0	☔ (低下)														
評価	目標値は0以上。（歳入決算額-市債借入額）-（歳出決算額-市債償還額）			(百万円) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値 (百万円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>4,189</td></tr><tr><td>R03</td><td>409</td></tr><tr><td>R04</td><td>1,055</td></tr><tr><td>R05</td><td>0</td></tr><tr><td>R06</td><td>0</td></tr><tr><td>R07</td><td>0</td></tr></tbody></table>							項目	値 (百万円)	基準	4,189	R03	409	R04	1,055	R05	0	R06	0	R07	0
	項目	値 (百万円)																						
基準	4,189																							
R03	409																							
R04	1,055																							
R05	0																							
R06	0																							
R07	0																							
(原因) 定期償還に加え繰上償還を実施した基準年度である平成31年度に比べ、令和6年度においては定期償還のみを実施したことが要因と考えられます。																								

基本事業02 健全な財政の維持

指標②	市税の収納率				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき		
	成果	業務取得	上がると良い	収納課	%	97.9	98.2	98.4	➡			
評価	税目:市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税				(%) 						☀ (向上)	
	(原因) 現年課税分及び滞納繰越分ともに収納率の向上が見られました。個人所得がゆるやかに回復してきているほか、地方税統一QRコードを利用した納付方法の導入などにより利便性が向上したことが要因と考えられます。										目標達成度	
価値											🏠 (達成)	

基本事業03 市有財産の保全と積極活用

指標 ①	計画的な改修達成率				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標の うごき														
	成果	業務取得	その他	環境施設課	%	90	100	—	100															
評 価	公共施設等総合管理計画で当該年度に更新予定の施設数に対する達成率				(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>90</td></tr><tr><td>R03</td><td>100</td></tr><tr><td>R04</td><td>100</td></tr><tr><td>R05</td><td>100</td></tr><tr><td>R06</td><td>100</td></tr><tr><td>R07</td><td>100</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	90	R03	100	R04	100	R05	100	R06	100	R07	100
	項目	値																						
基準	90																							
R03	100																							
R04	100																							
R05	100																							
R06	100																							
R07	100																							
(原因) 令和6年3月の多賀城市公共施設等総合管理計画改訂により、当該年度に更新予定の施設数の記載が見直しされたため、令和6年度から指標値が計測不可となりました。				目 標 達成度																				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 市有財産の保全と積極活用

指標②	事故発生による保険金支払い件数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	その他	財政課	件/年	0	0	0	0	---
評価	(原因) 事故の未然防止策として市有財産の定期点検等といった適切な管理のもと運営されていることが要因です。									目標達成度 (達成)

基本事業04 ICT等の積極活用による効率化の推進

指標①	Web上で手続きが可能な業務数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	企画課 ICT推進室	件	12	146	229	➔	☀ (向上)
評価	(原因) 多賀城市ICT利活用方針に基づき、行政手続のデジタル化を推進するため、Webフォームによるイベントやアンケートの受付等を推進し、また、令和6年度にはMicrosoft Formsの操作研修を行い、その活用を図ったことが要因です。									目標達成度 (達成)

基本事業04 ICT等の積極活用による効率化の推進

指標②	ICTの活用により効率化が図られた業務数				単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	企画課 ICT推進室	業務	53	180	276	➔	☀ (向上)
評価	(原因) 多賀城市ICT利活用方針に基づき、事務のデジタル化を推進し、Web上で手続きが可能な業務が増加したことが要因です。 【前期基準値取得年度は、令和3年度です。】									目標達成度 (達成)

(参考)
多賀城市まちづくりアンケート調査結果
〈令和6年度実施〉

①多賀城市まちづくりアンケートの令和6年度実施状況

多賀城市まちづくりアンケートは、総合計画の施策や基本事業に設定している指標の進捗状況を調査するため、毎年度実施しています。令和6年度の実施状況は、次のとおりです。

アンケート発送日	令和7年1月31日
アンケート発送数	3,000通
調査対象者数	2,986人
有効回収数	1,219人
回収率	40.8%

②市民の満足度と重要度の調査結果

今後のまちづくりにいかしていくことを目的として、各施策に対する市民ニーズ(満足度、重要度)の状況を、多賀城市まちづくりアンケートによって取得しています。ここでは、アンケートにより把握した29の施策に対する市民満足度と重要度の状況を5点満点で点数化し、前期基本計画の基準値である令和2年度と令和6年度の数値を比較します。

満足度	
・満足	5点
・どちらかといえば満足	4点
・普通	3点
・どちらかといえば不満	2点
・不満	1点

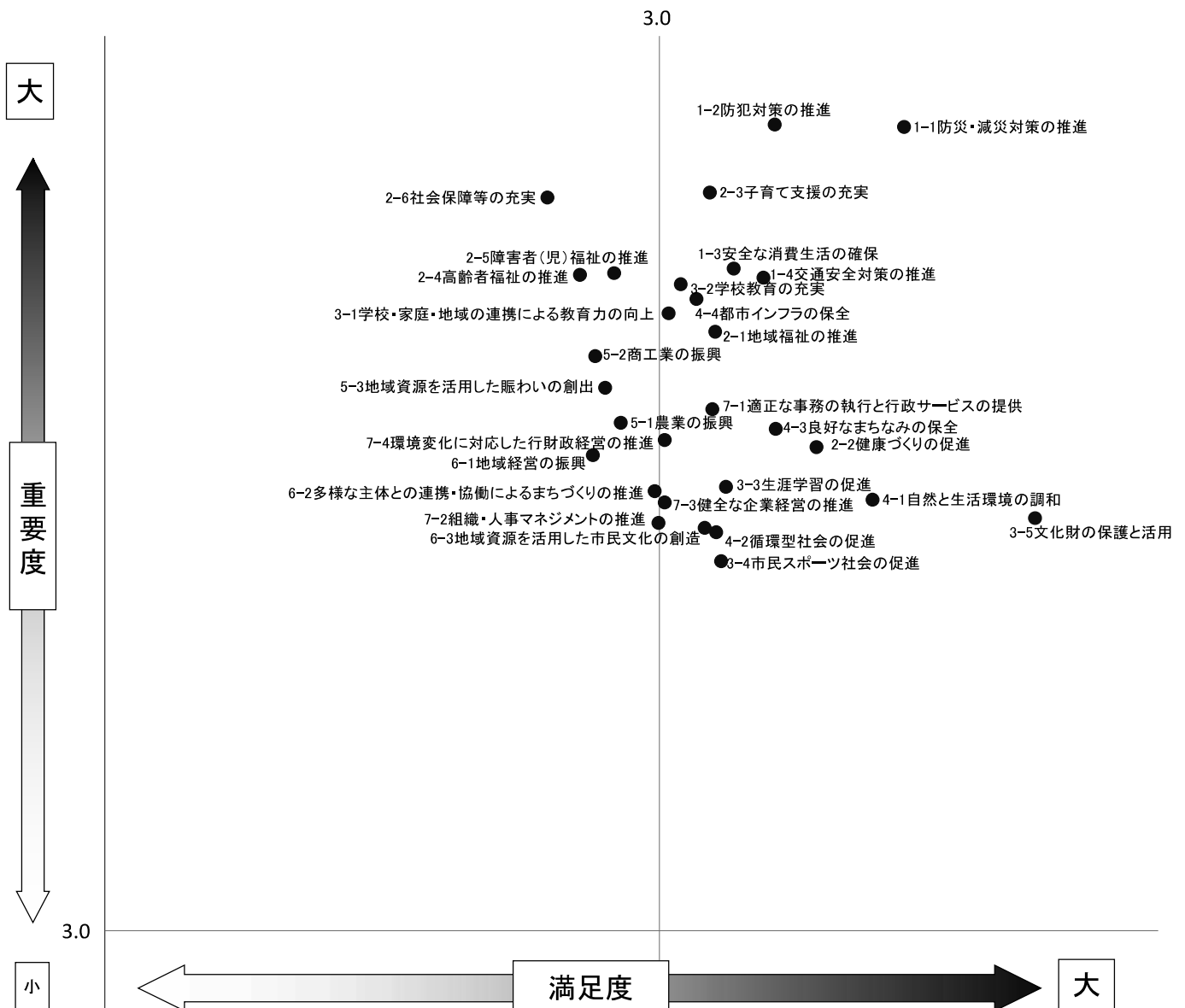
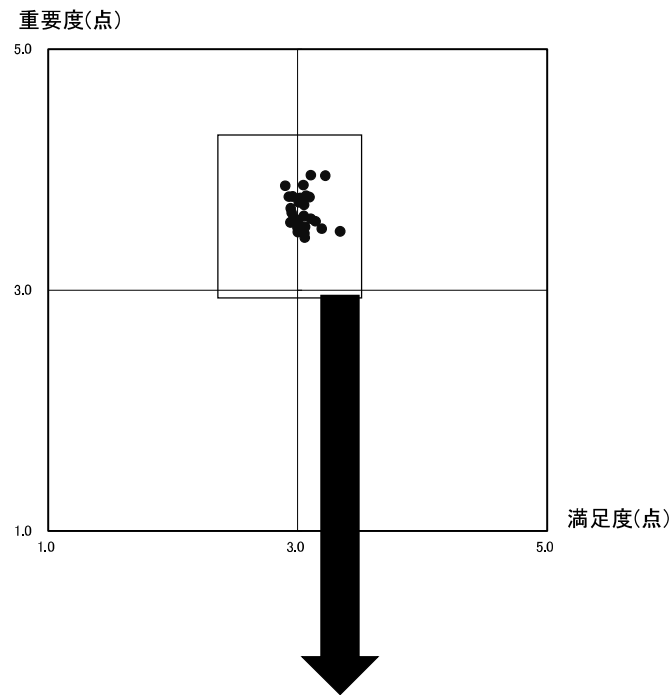
重要度	
・力を入れるべき	5点
・できれば力を入れるべき	4点
・今のままでよい	3点
・あまり力を入れなくてよい	2点
・力を入れなくてよい	1点

政策・施策分野		満足度			重要度		
		令和2年度 A	令和6年度 B	対2年度比 C(B-A)	令和2年度 D	令和6年度 E	対2年度比 F(E-D)
1-1	防災・減災対策の推進	3.13	3.22	0.09	3.93	3.95	0.02
1-2	防犯対策の推進	3.04	3.10	0.06	3.88	3.95	0.07
1-3	安全な消費生活の確保	3.12	3.07	△ 0.05	3.60	3.78	0.18
1-4	交通安全対策の推進	3.02	3.09	0.07	3.76	3.77	0.01
2-1	地域福祉の推進	2.97	3.05	0.08	3.72	3.71	△ 0.01
2-2	健康づくりの推進	3.06	3.14	0.08	3.59	3.57	△ 0.02
2-3	子育て支援の充実	2.97	3.05	0.08	3.88	3.87	△ 0.01
2-4	高齢者福祉の推進	2.92	2.93	0.01	3.84	3.78	△ 0.06
2-5	障害者(児)福祉の推進	2.96	2.96	0.00	3.78	3.78	0.00
2-6	社会保障等の充実	2.89	2.90	0.01	3.81	3.87	0.06

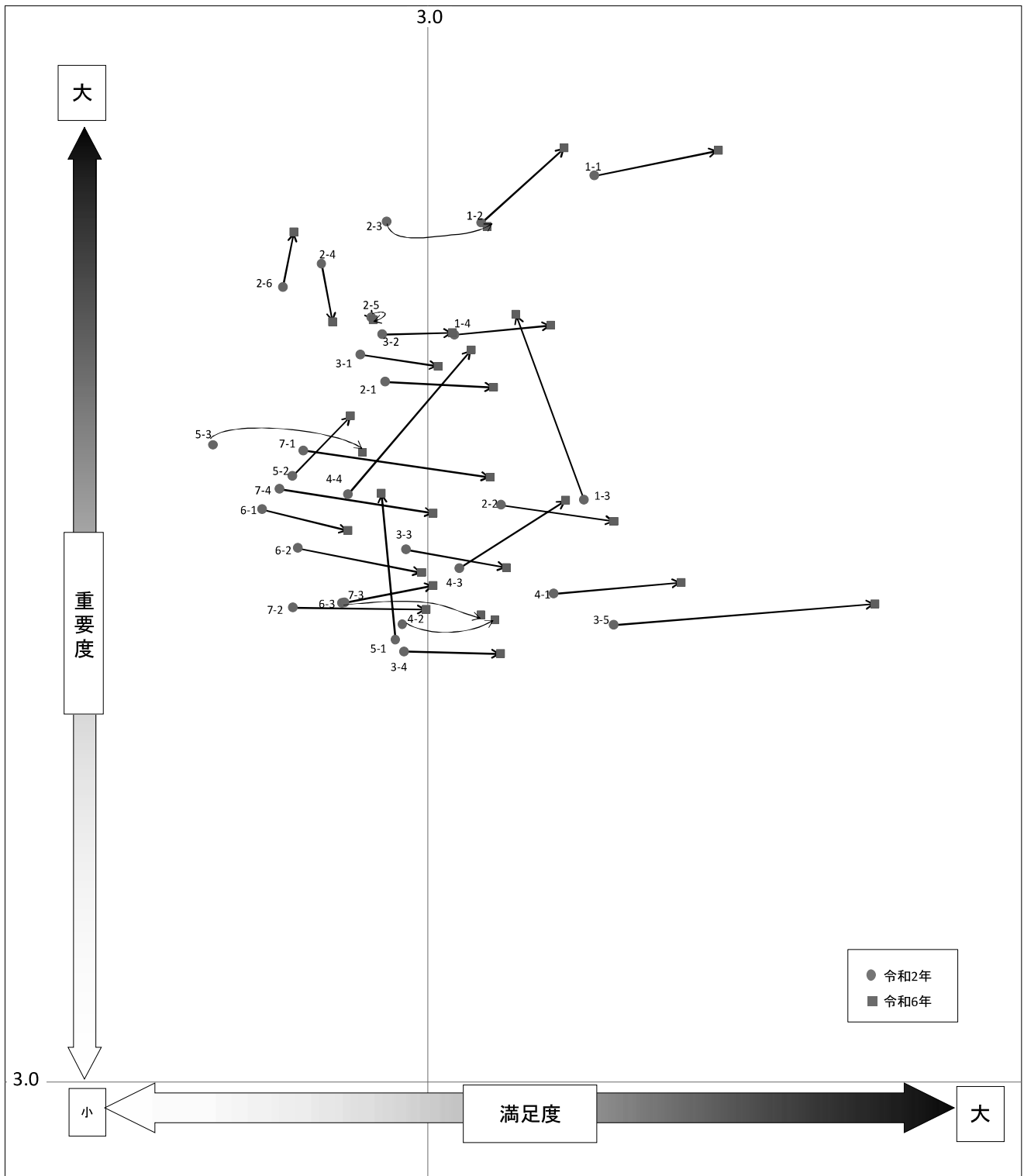
政策・施策分野		満足度			重要度		
		令和2年度 A	令和6年度 B	対2年度比 C(B-A)	令和2年度 D	令和6年度 E	対2年度比 F(E-D)
3-1	学校・家庭・地域の連携による 教育力の向上	2.95	3.01	0.06	3.74	3.73	△ 0.01
3-2	学校教育の充実	2.97	3.02	0.05	3.76	3.77	0.01
3-3	生涯学習の促進	2.98	3.06	0.08	3.54	3.53	△ 0.01
3-4	市民スポーツ社会の推進	2.98	3.06	0.08	3.44	3.44	0.00
3-5	文化財の保護と活用	3.14	3.34	0.20	3.47	3.49	0.02
4-1	自然と生活環境の調和	3.10	3.19	0.09	3.50	3.51	0.01
4-2	循環型社会の促進	2.98	3.05	0.07	3.47	3.47	0.00
4-3	良好なまちなみの保全	3.02	3.10	0.08	3.53	3.59	0.06
4-4	都市インフラの保全	2.94	3.03	0.09	3.60	3.75	0.15
5-1	農業の振興	2.98	2.96	△ 0.02	3.45	3.60	0.15
5-2	商工業の振興	2.90	2.94	0.04	3.62	3.68	0.06
5-3	地域資源を活用した賑わいの 創出	2.84	2.95	0.11	3.65	3.64	△ 0.01
6-1	地域経営の振興	2.88	2.94	0.06	3.59	3.56	△ 0.03
6-2	多様な主体との連携・協働によ るまちづくりの推進	2.90	3.00	0.10	3.55	3.52	△ 0.03
6-3	地域資源を活用した市民文化 の創造	2.94	3.04	0.10	3.49	3.48	△ 0.01
7-1	適正な事務の執行と行政サー ビスの提供	2.91	3.05	0.14	3.65	3.62	△ 0.03
7-2	組織・人事マネジメントの推進	2.90	3.00	0.10	3.48	3.48	0.00
7-3	健全な企業経営の推進	2.94	3.00	0.06	3.49	3.51	0.02
7-4	環境変化に対応した行財政経 営の推進	2.89	3.00	0.11	3.61	3.58	△ 0.03
	最大	3.14	3.34		3.93	3.95	
	最小	2.84	2.90		3.44	3.44	
	平均	2.97	3.04		3.63	3.65	

●満足度は上がると良い指標であり、重要度は下がると良い指標です。

まちづくりアンケート 満足度重要度結果(令和6年度)



まちづくりアンケート 満足度重要度結果 基準年(令和2年度)・令和6年度比較



政策1

- 1-1 防災・減災対策の推進
- 1-2 防犯対策の推進
- 1-3 安全な消費生活の確保
- 1-4 交通安全対策の推進

政策2

- 2-1 地域福祉の推進
- 2-2 健康づくりの促進
- 2-3 子育て支援の充実
- 2-4 高齢者福祉の推進
- 2-5 障害者(児)福祉の推進
- 2-6 社会保障等の充実

政策3

- 3-1 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上
- 3-2 学校教育の充実
- 3-3 生涯学習の促進
- 3-4 市民スポーツ社会の促進
- 3-5 文化財の保護と活用

政策4

- 4-1 自然と生活環境の調和
- 4-2 循環型社会の促進
- 4-3 良好なまちなみの保全
- 4-4 都市インフラの保全

政策5

- 5-1 農業の振興
- 5-2 商工業の振興
- 5-3 地域資源を活用した賑わいの創出

政策6

- 6-1 地域経営の振興
- 6-2 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進
- 6-3 地域資源を活用した市民文化の創造

政策7

- 7-1 適正な事務の執行と行政サービスの提供
- 7-2 組織・人事マネジメントの推進
- 7-3 健全な企業経営の推進
- 7-4 環境変化に対応した行財政経営の推進

(参考)統計の見方

①アンケートの配布票数及び有効票数について

統計学的には、対象となる方々の性別、年齢、職業、居住地などをバランスよく抽出しアンケート調査を行い、有効回答が概ね1,000 票となれば、そのアンケート結果は、対象となる母集団の大小に係わらず、ほぼ変わらないとされています。この有効票数1,000 票は、日本国民全体を対象とした場合でもサンプル数としては十分となることから、テレビの支持政党の電話アンケートなどの世論調査でも活用されています。

また、1,000 票程度の有効票数が得られれば、違う人を対象に、同じアンケート調査を100 回行った場合でも、そのうち95 回は、ほぼ同じ結果が得られるとされています。そのため、傾向を判断する場合には、適切な手法ということとなります。ただし、アンケート結果がほぼ同数で回答が分かれるような内容の場合は、統計誤差の関係から、傾向の判断が難しい場合があります。

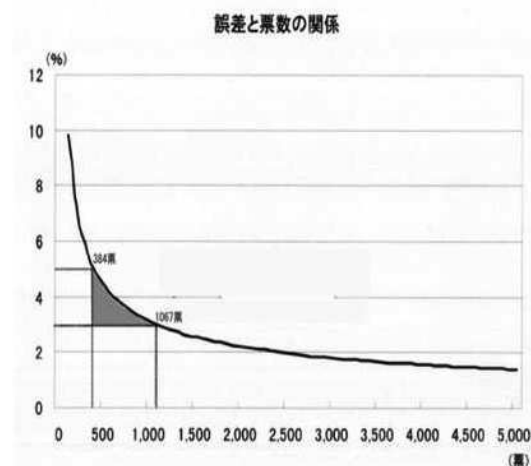
よって、今回実施した「多賀城市まちづくりアンケート」においても、概ね1,000 票の有効回答を目標に、これまで多賀城市で実施したアンケート調査結果などから回収率を約33%と想定し、配布数(対象者数)を3,000 票としました。

②アンケートの回収票の信頼性

アンケート票数と誤差との関係は、当然アンケート票数が少ないと誤差は大きく、アンケート票数が多いと誤差は少なくなります。しかしその関係は一定ではなく、下図のとおり稜線を描くような関係にあります。【下図参照】

つまり、票数が少ない時は票数を少し増やすことにより誤差が大幅に減少しますが、ある一定の数を超えると、票数を大幅に増やしても誤差はほとんど変わらなくなります。統計学的には、この「一定の数」は、目標誤差:3~5%以内であれば良いとされており、それを下記の計算式で逆算すると概ね400~1,100 票程度であることが算出されています。

よって、有効回答票の回収数がこの程度あれば、住民意向の把握として十分信頼性の高い数字になると言えます。



【上記は3%~5%の範囲を示しています。】

《参考》

サンプル数(アンケートの有効回答票数)と誤差との関係式

必要なサンプル数

$$= (\text{有意水準}^2 \times P(1-P)) \div \text{目標誤差}^2$$

有意水準: 統計学の「正規分布表」から有意水準5%の定数(=1.96)

P: 誤差が一番大きくなるのは50%のときなので0.5

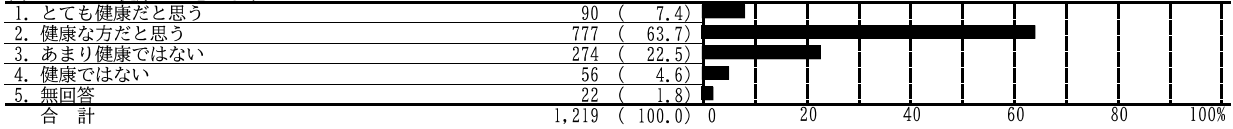
目標誤差: 3~5%以内であれば良いとされている。

③回収票数と誤差

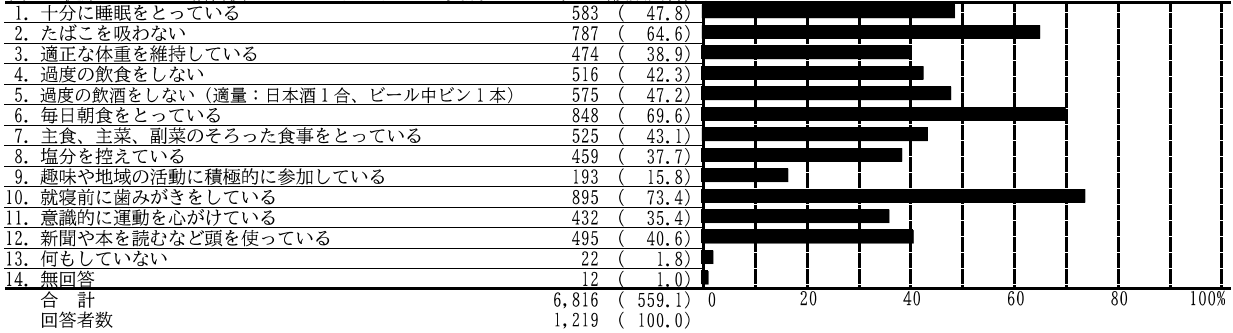
実施の結果として仮に1,000 票の回答があったとすると、上記の式に入れて逆算すると、誤差は3.1%となります。これは、例えば違う人を対象にして、今回と同じ調査を複数回実施しても、結果の%の値が±3.1ポイント以内でしか変わらないということです。

このことから、まちづくり報告書においては、異なる年度との比較を行う際には、5.0ポイントまでの差については、統計誤差として処理することとしています。

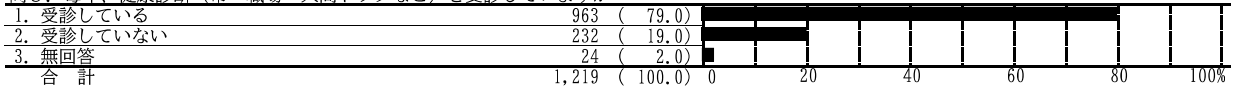
問1. ふだん健康だと思いますか



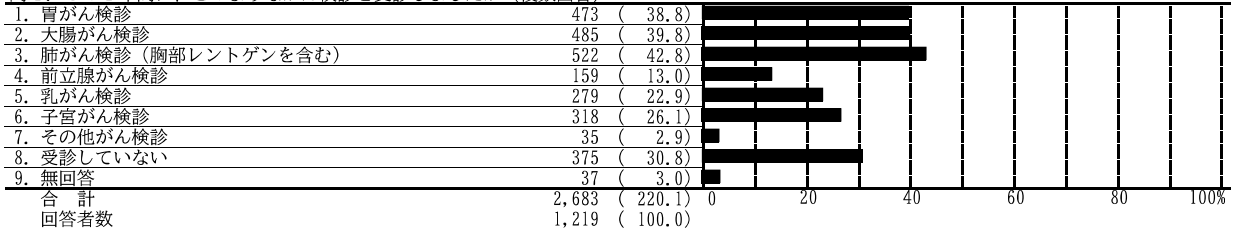
問2. 健康のために生活習慣としてどのようなことを実践していますか（複数回答）



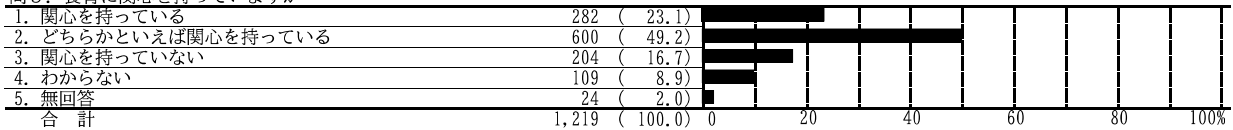
問3. 毎年、健康診断（市・職場・人間ドックなど）を受診していますか



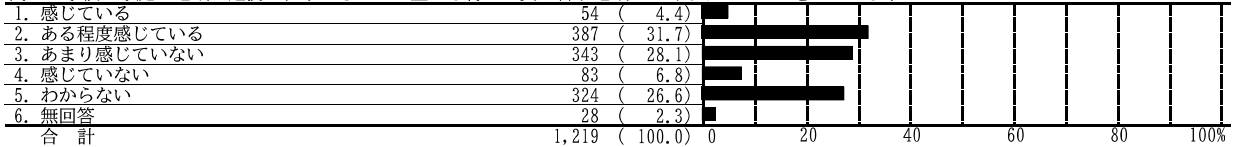
問4. この1年間に、どのようながん検診を受診しましたか（複数回答）



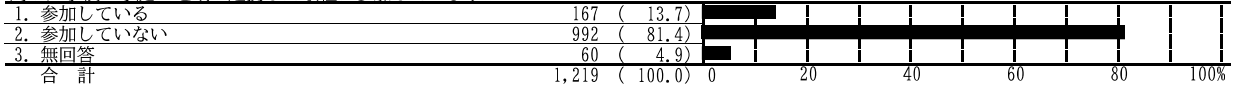
問5. 食育に関心を持っていますか



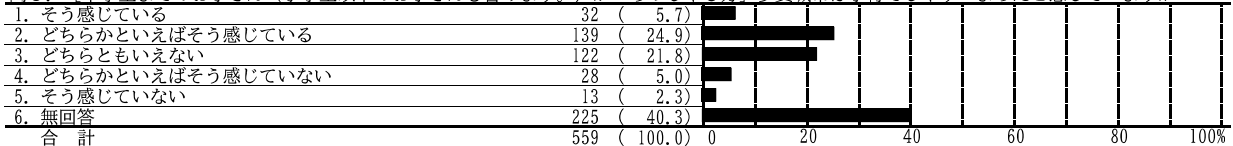
問6. 学校と家庭と地域が連携し、子どもたちの豊かな育ちを支え合う地域がつくられていると感じていますか



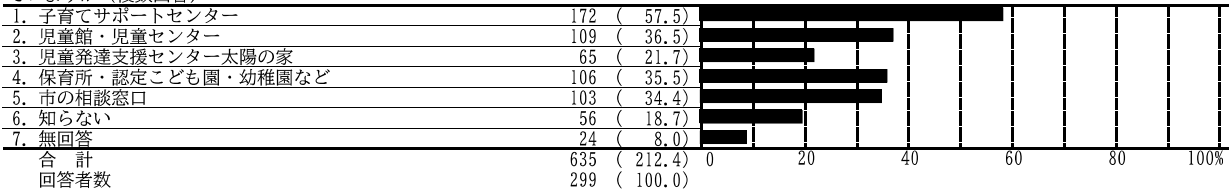
問7. 学校と家庭と地域が連携した取組に参加していますか



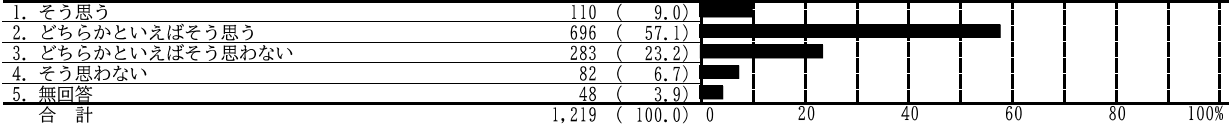
問8. 「中学生までのお子さん（小学生以下のお子さんも含みます。）がいらっしゃる方」多賀城市は子育てしやすいまちだと感じていますか



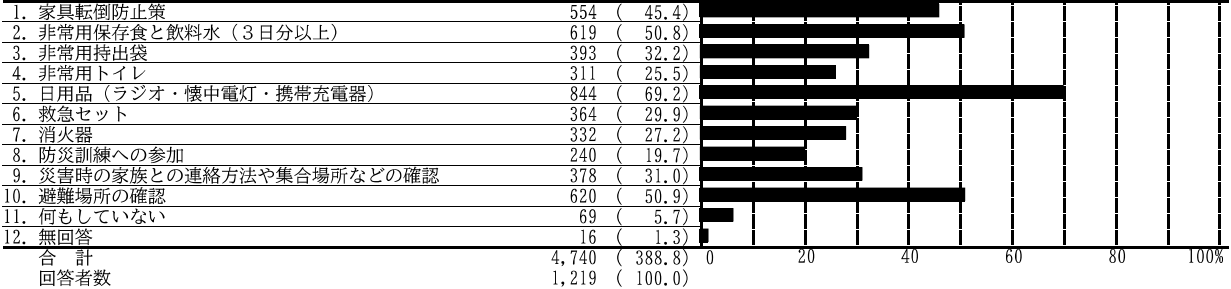
問9. 「小学生までのお子さんがいらっしゃる方」妊娠や出産、子どもの成長や発達など子育てに関する様々な悩みに対応する市の相談窓口を知っていますか（複数回答）



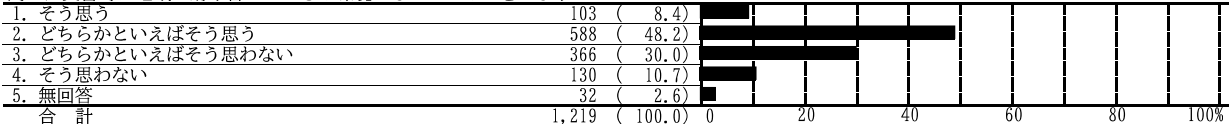
問10. 行政の災害に対する備えが整っていると思いますか



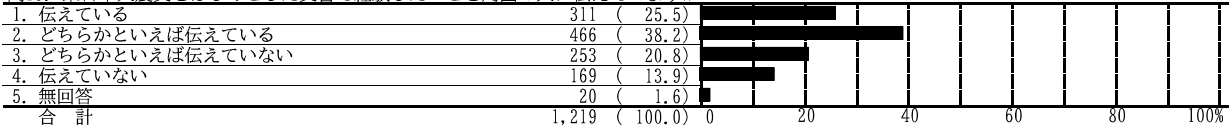
問11. あなたの家庭では、災害から身を守るため、どのような準備をしていますか（複数回答）



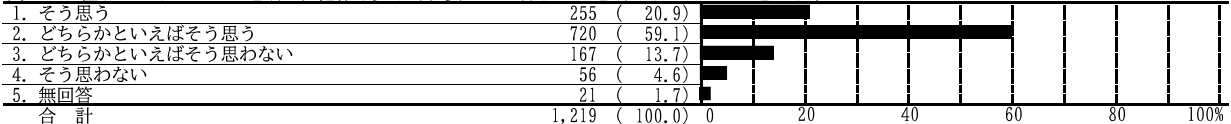
問12. 災害時に地域で助け合いができる環境になっていると思いますか



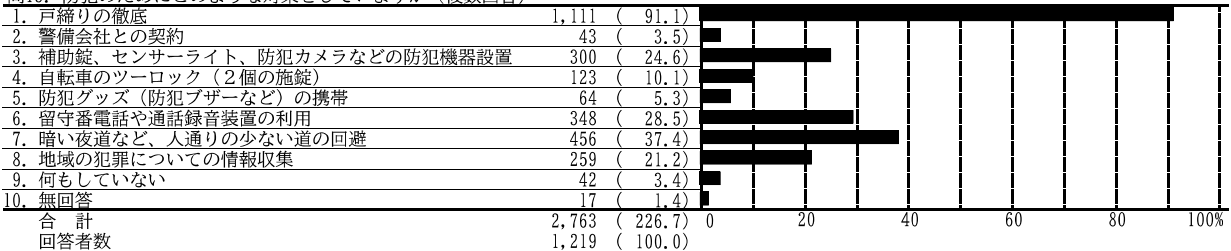
問13. 東日本大震災をはじめとした災害で経験したことを周囲の人に伝えていきますか



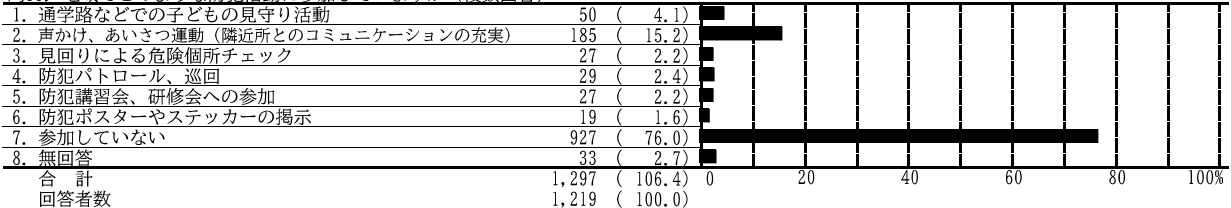
問14. お住まいになっている地域は、犯罪も少なく、安心して暮らせる地域になっていると思いますか



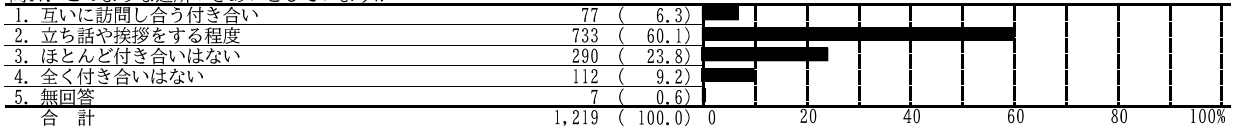
問15. 防犯のためにどのような対策をしていますか（複数回答）



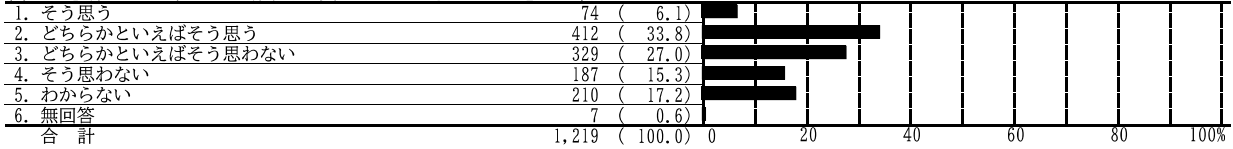
問16. 地域でどのような防犯活動に参加していますか（複数回答）



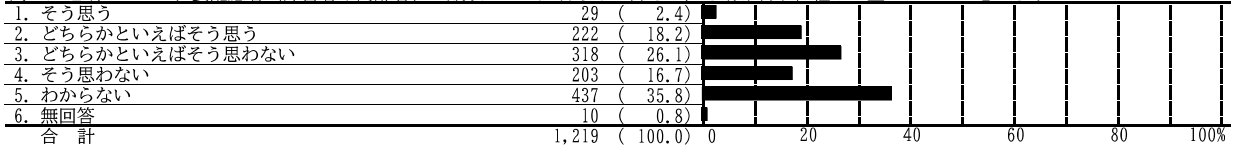
問17. どのような近所づきあいをしていますか



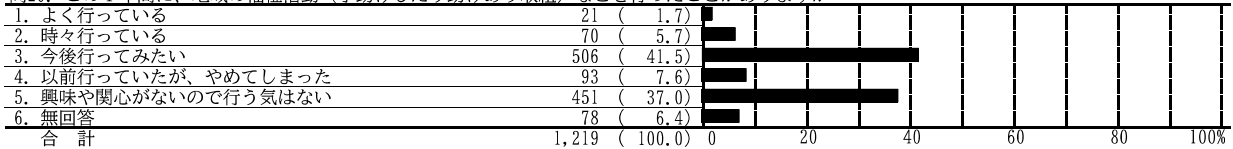
問18. 地域において、互いに助けあい支えあいができていると思いますか



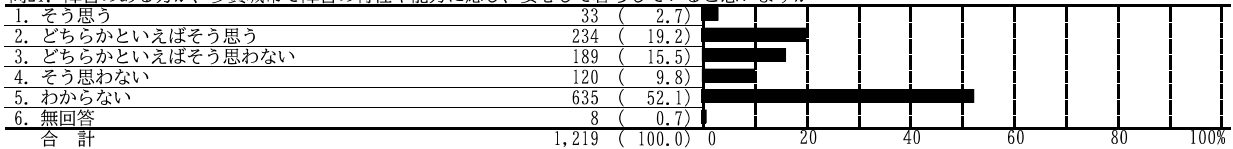
問19. 地域において、要配慮者（障害者や高齢者、75歳以上の一人暮らしの方など）を助け合う仕組みが整っていると思いますか



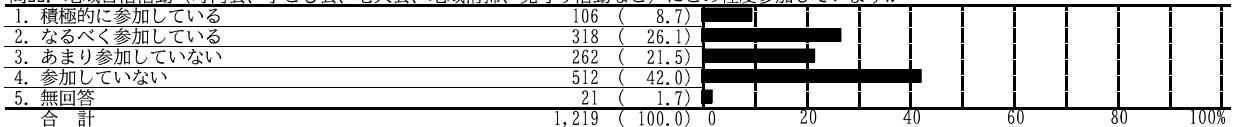
問20. この1年間に、地域の福祉活動（手助けしたり助けあう取組）などを行ったことがありますか



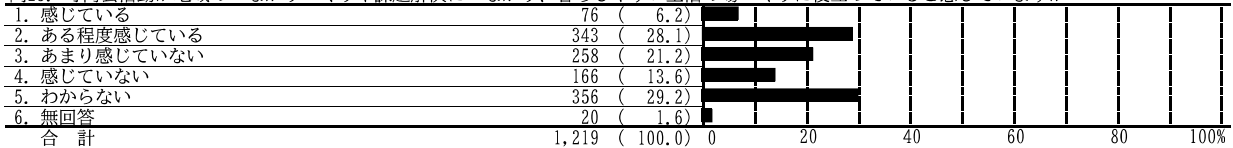
問21. 障害のある方が、多賀城市で障害の特性や能力に応じ、安心して暮らしていると思いますか



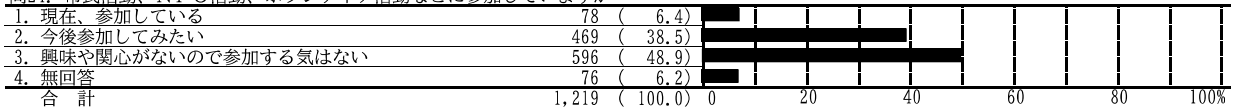
問22. 地域自治活動（町内会、子ども会、老人会、地域清掃、見守り活動など）にどの程度参加していますか



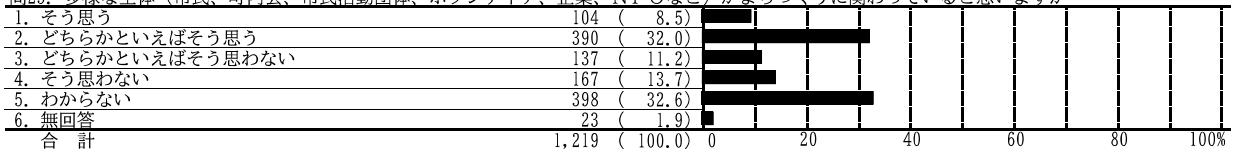
問23. 町内会活動が地域のつながりづくりや課題解決につながり、暮らしやすい生活の場づくりに役立っていると感じていますか



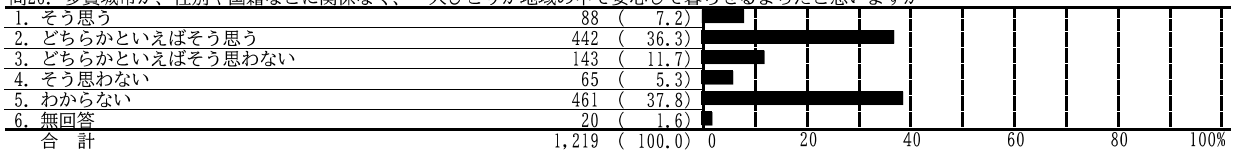
問24. 市民活動、NPO活動、ボランティア活動などに参加していますか



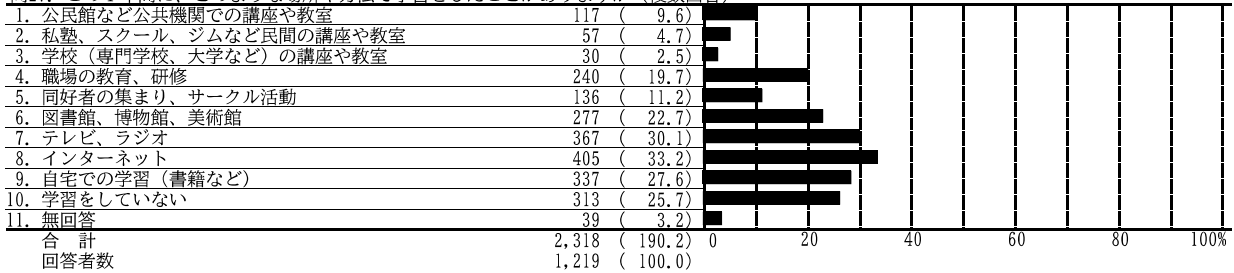
問25. 多様な主体（市民、町内会、市民活動団体、ボランティア、企業、NPOなど）がまちづくりに関わっていると思いますか



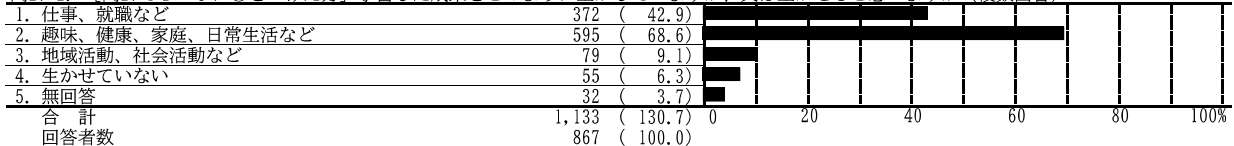
問26. 多賀城市が、性別や国籍などに関係なく、一人ひとりが地域の中で安心して暮らせるまちだと思いますか



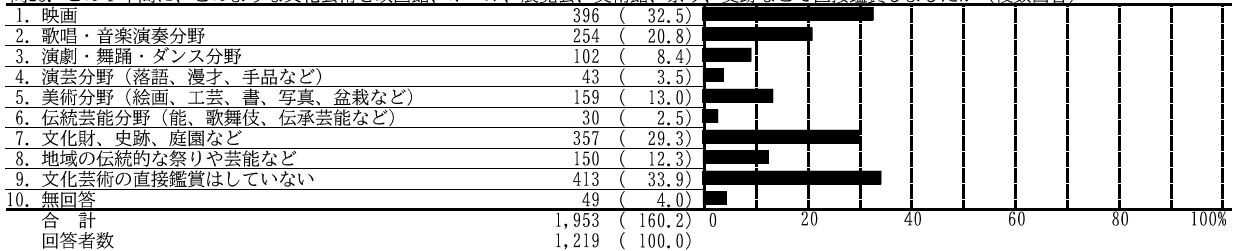
問27. この1年間に、どのような場所や方法で学習をしたことがありますか（複数回答）



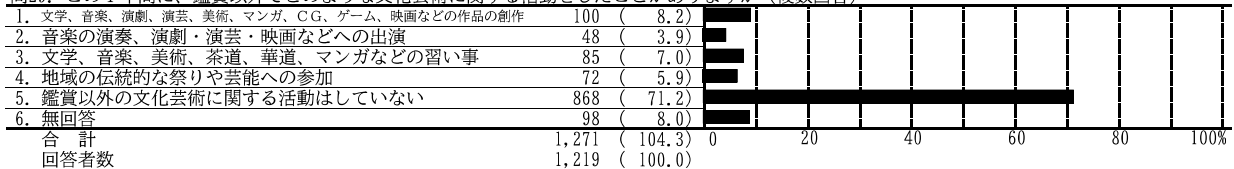
問27-2. 「問27で1～9に○をつけた方」学習した成果をどのように生かしていますか、又は生かせると思いますか（複数回答）



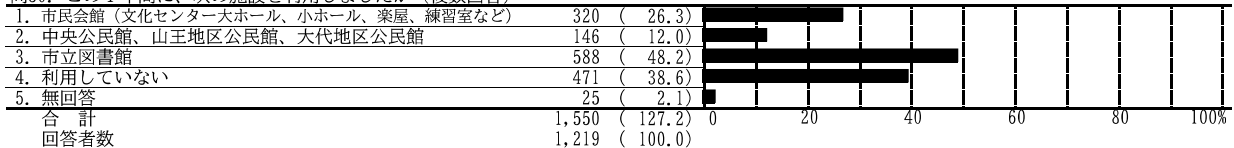
問28. この1年間に、どのような文化芸術を映画館、ホール、展覧会、美術館、祭り、史跡などで直接鑑賞しましたか（複数回答）



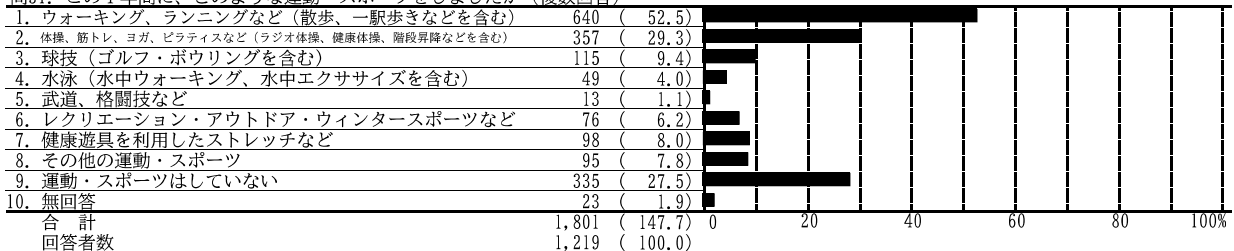
問29. この1年間に、鑑賞以外でどのような文化芸術に関する活動をしたことがありますか（複数回答）



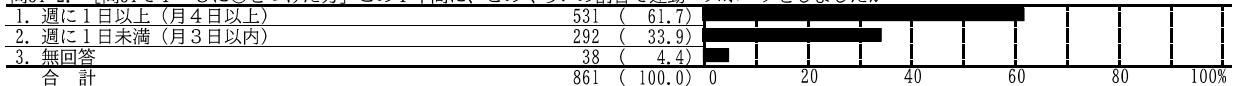
問30. この1年間に、次の施設を利用しましたか（複数回答）



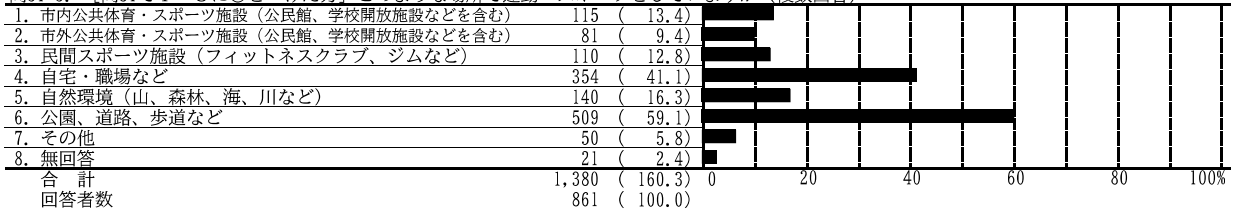
問31. この1年間に、どのような運動・スポーツをしましたか（複数回答）



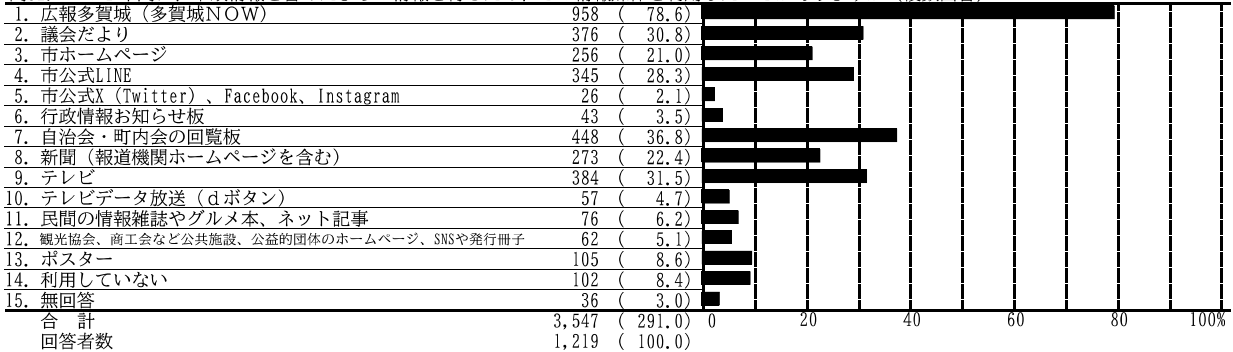
問31-2. 「問31で1～8に○をつけた方」この1年間に、どのくらいの割合で運動・スポーツをしましたか



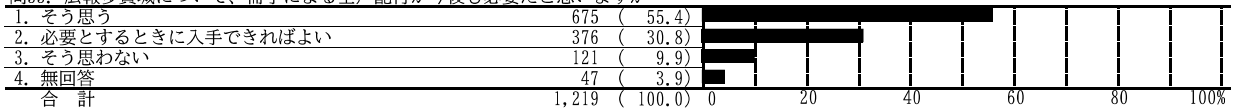
問31-3. 「問31で1～8に○をつけた方」どのような場所で運動・スポーツをしていますか（複数回答）



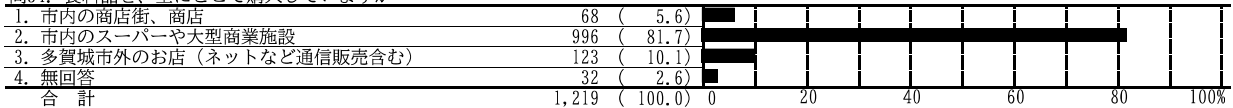
問32. この1年間に、市政情報を含めたまちの情報を得るため、どの情報媒体を利用したことがありますか（複数回答）



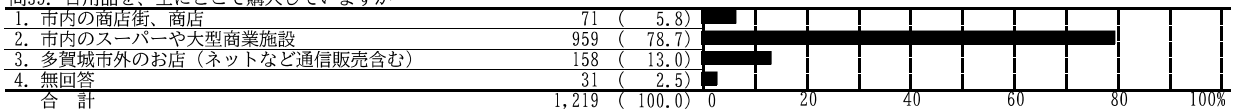
問33. 広報多賀城について、冊子による全戸配付が今後も必要だと思いますか



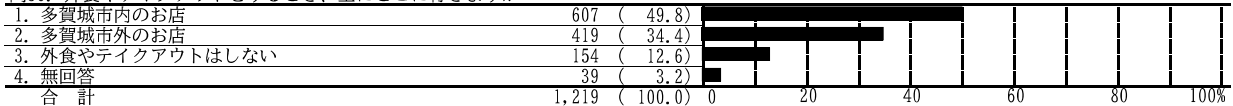
問34. 食料品を、主にどこで購入していますか



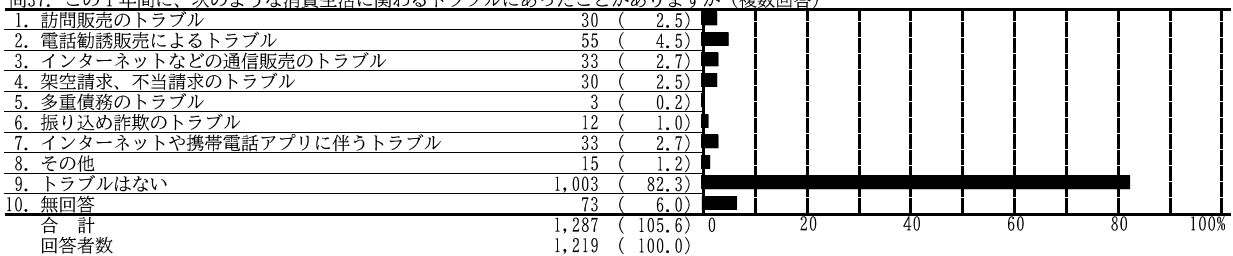
問35. 日用品を、主にどこで購入していますか



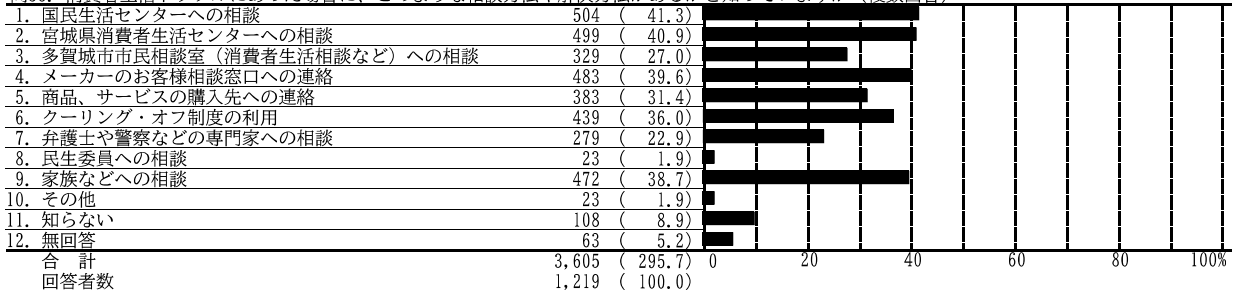
問36. 外食やテイクアウトをするとき、主にどこに行きますか



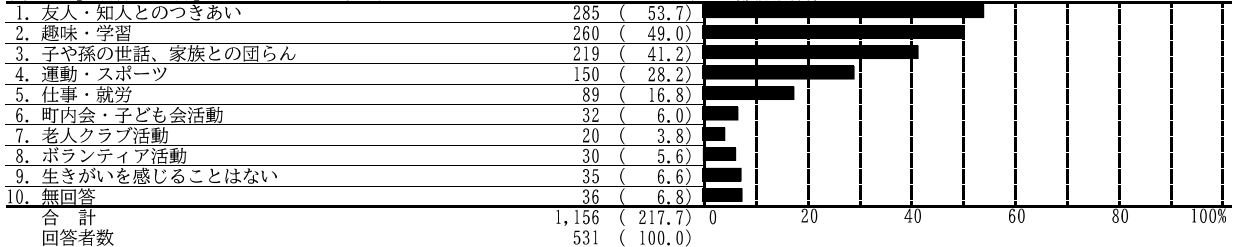
問37. この1年間に、次のような消費生活に関わるトラブルにあったことがありますか（複数回答）



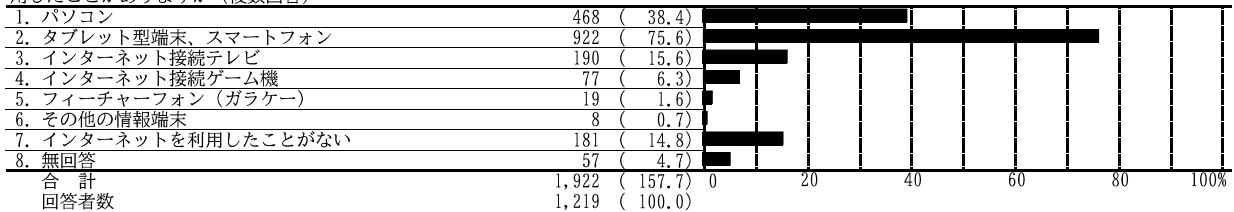
問38. 消費者生活トラブルにあった場合に、どのような相談方法や解決方法があるかを知っていますか（複数回答）



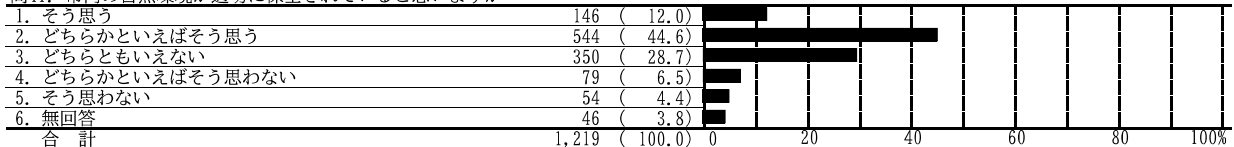
問39. [65歳以上の方] 日々の暮らしの中で、どのようなことに生きがいを感じますか（複数回答）



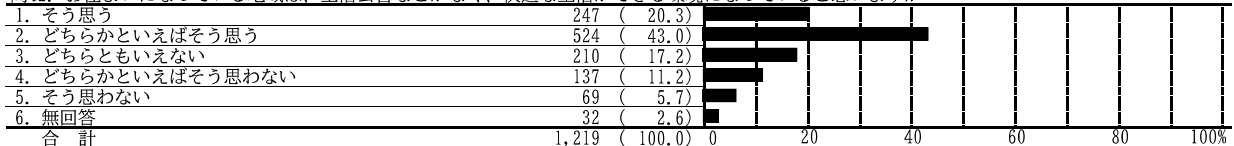
問40. この1年間に、インターネットの利用（電子メールの送受信、ホームページの閲覧、LINEなどSNSの利用など）に当たって、どの情報媒体を利用したことがありますか（複数回答）



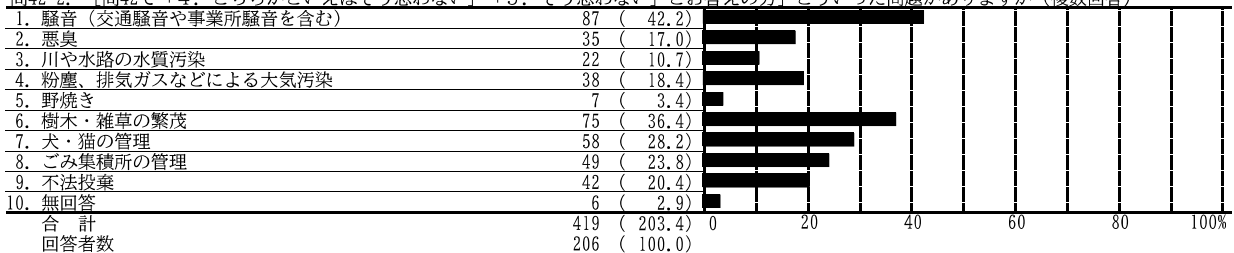
問41. 市内の自然環境が適切に保全されていると思いますか



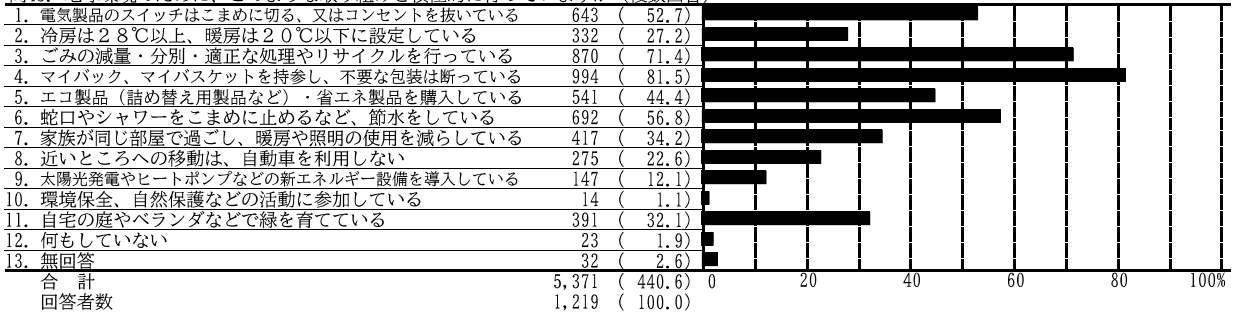
問42. お住まいになっている地域は、生活公害などがなく、快適な生活ができる環境になっていると思いますか



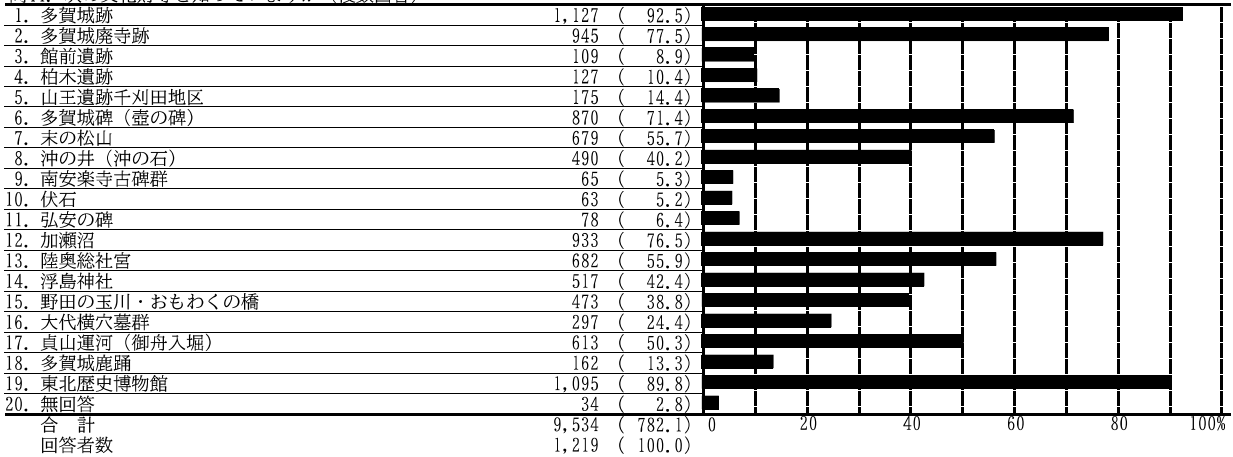
問42-2. 「問42で「4. どちらかといえばそう思わない」「5. そう思わない」とお答えの方」どういった問題がありますか（複数回答）



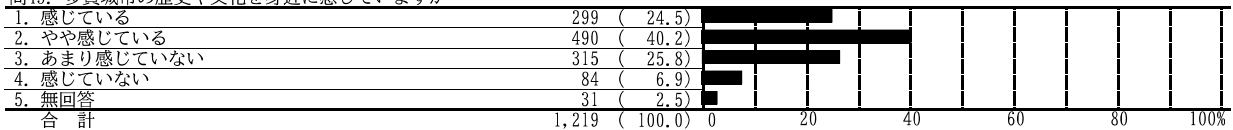
問43. 地球環境のために、どのような取り組みを積極的に行っていますか（複数回答）



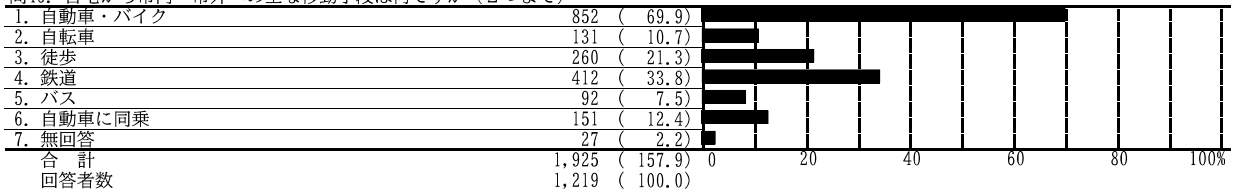
問44. 次の文化財等を知っていますか（複数回答）



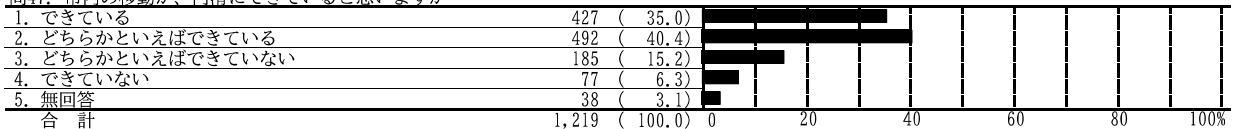
問45. 多賀城市の歴史や文化を身近に感じていますか



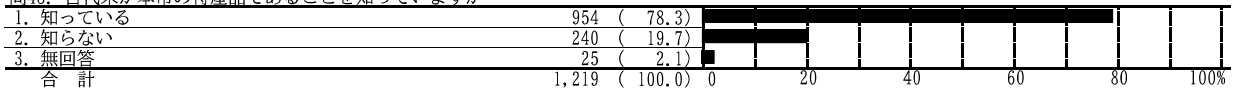
問46. 自宅から市内・市外への主な移動手段は何ですか（2つまで）



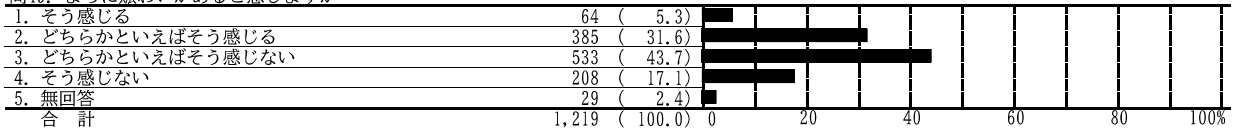
問47. 市内の移動が、円滑にできていると思いますか



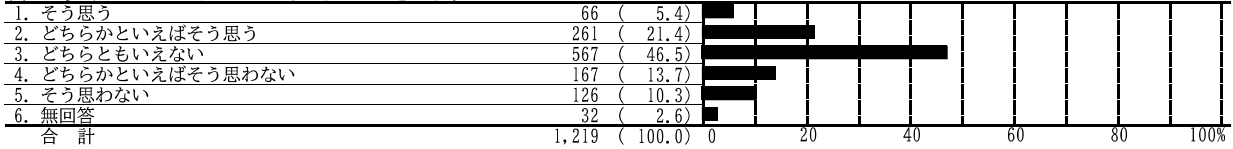
問48. 古代米が本市の特産品であることを知っていますか



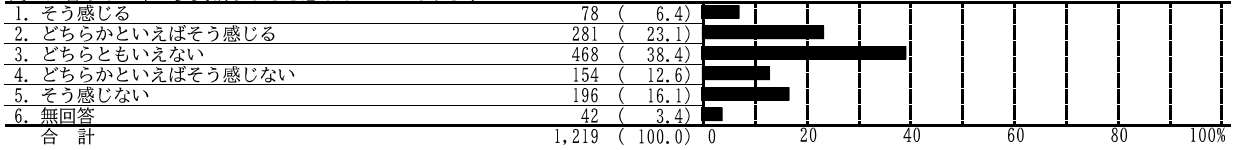
問49. まちに賑わいがあると感じますか



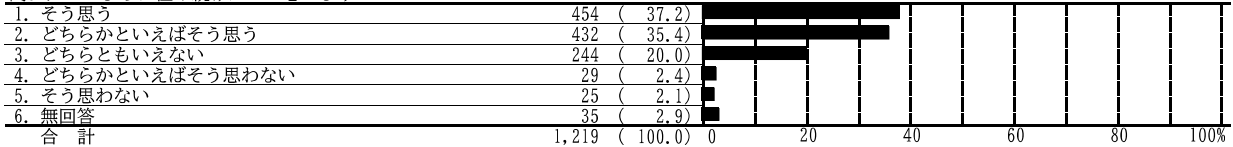
問50. 多くのことにチャレンジできるまちだと思いますか



問51. 暮らしの中で多賀城らしさを感じることがありますか

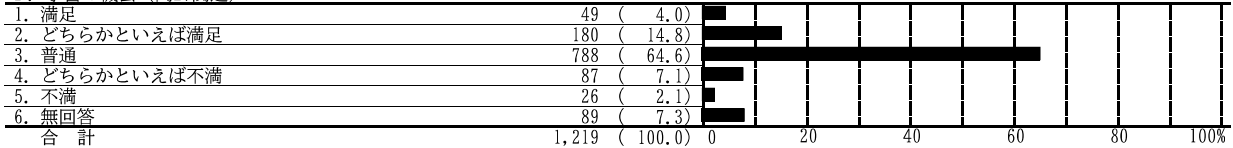


問52. このまちに住み続けたいと思いますか



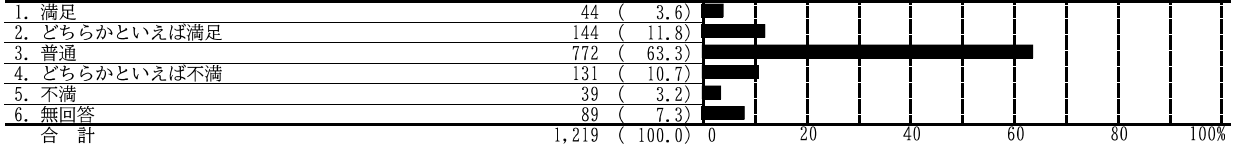
問53. 現在の満足度

1. 学習の機会（問27関連）



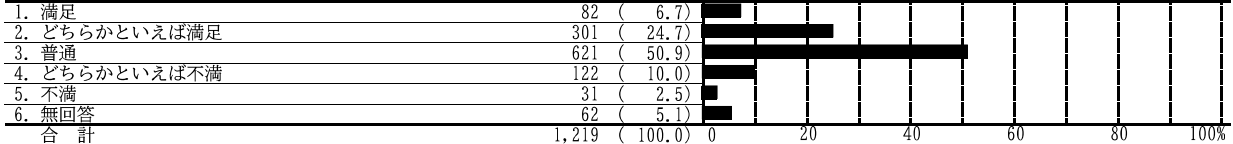
問53. 現在の満足度

2. 運動・スポーツを行う機会（スポーツイベントや教室など。問31関連）



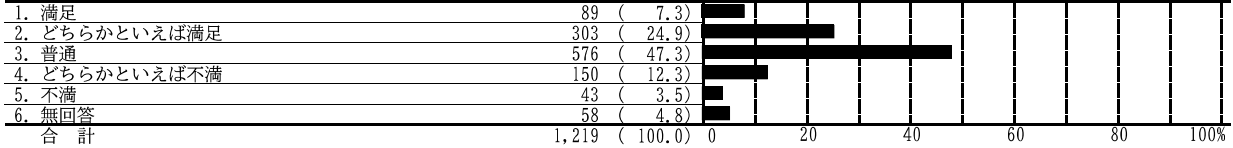
問53. 現在の満足度

3. まちなみの景観



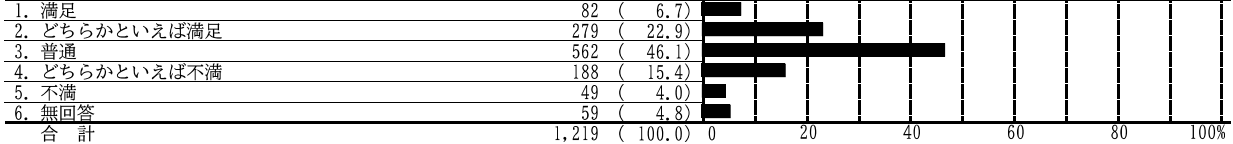
問53. 現在の満足度

4. まちの緑化状況（公園、街路樹、生垣、花壇など）



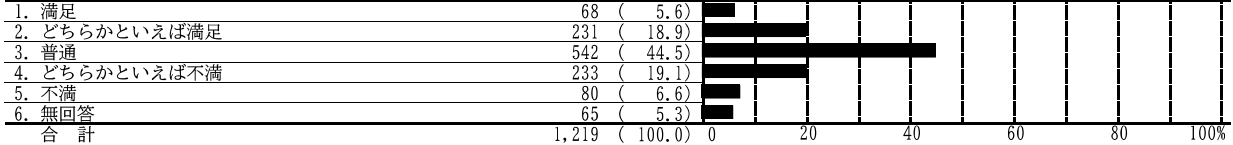
問53. 現在の満足度

5. 公園の維持管理状況



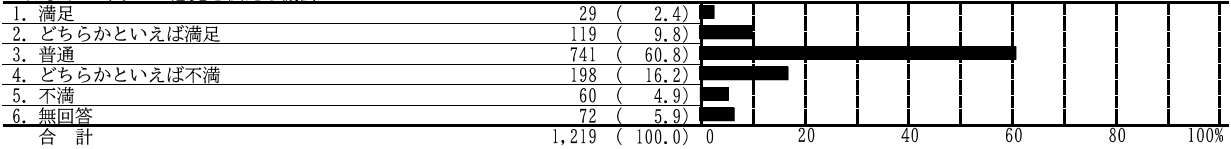
問53. 現在の満足度

6. 道路の維持管理状況



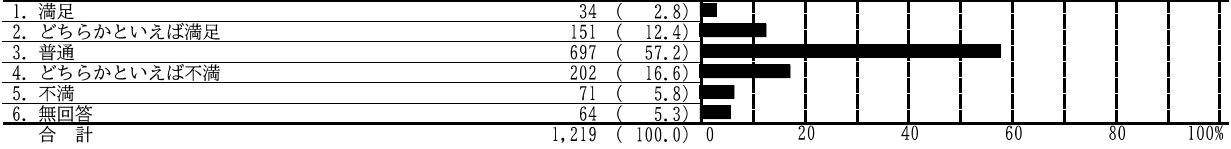
問53. 現在の満足度

7. まちづくりへの意見を伝える機会



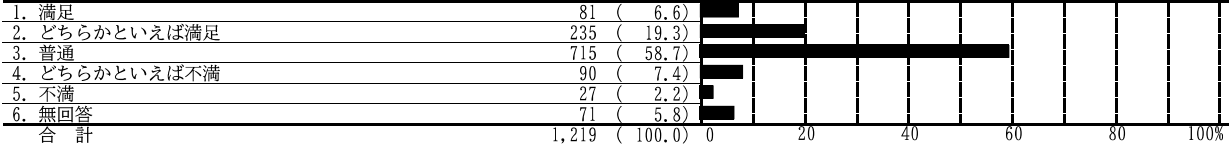
問53. 現在の満足度

8. 市民の理解と信頼に応える行政経営



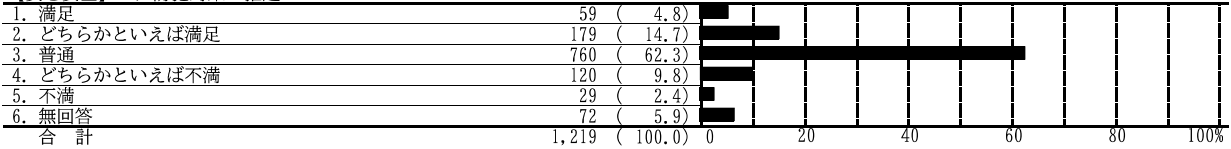
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【安心安全】1. 防災・減災対策の推進



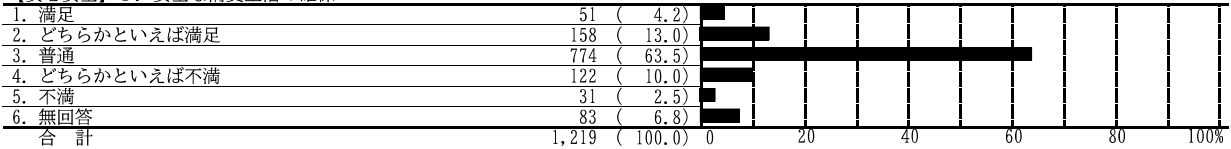
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【安心安全】2. 防犯対策の推進



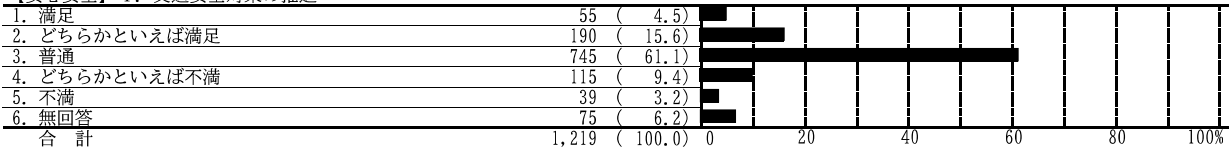
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【安心安全】3. 安全な消費生活の確保



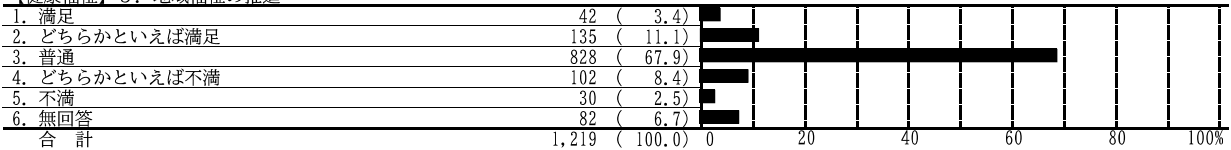
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【安心安全】4. 交通安全対策の推進



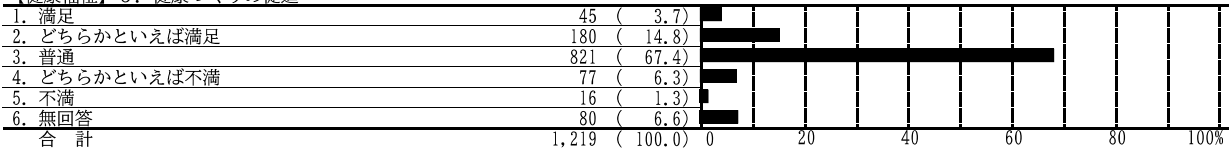
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】5. 地域福祉の推進



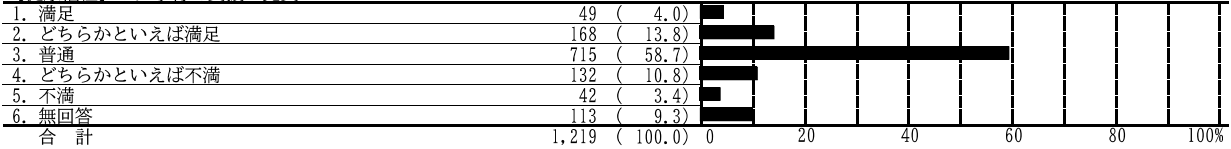
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】6. 健康づくりの促進



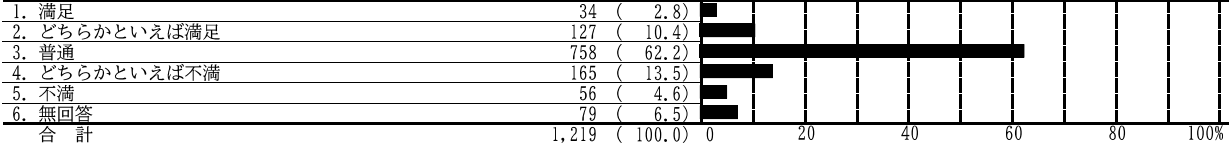
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】7. 子育て支援の充実



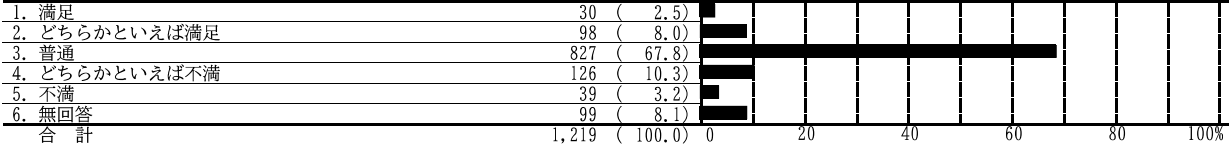
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】8. 高齢者福祉の推進



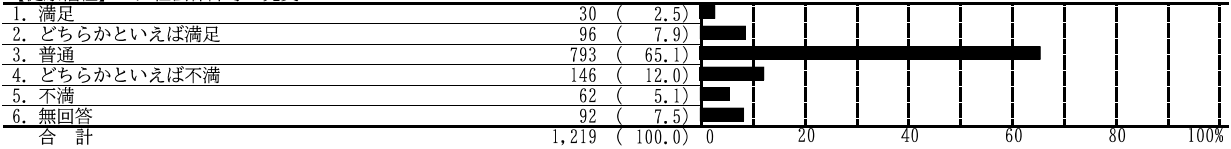
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】9. 障害者(児)福祉の推進



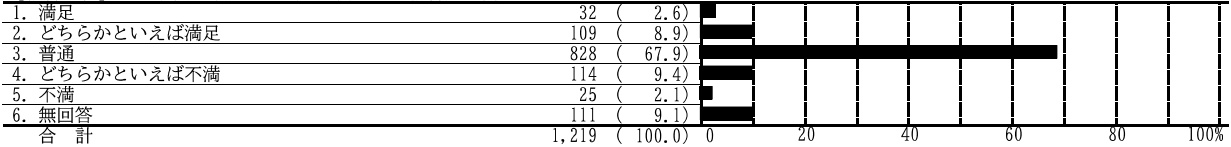
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【健康福祉】10. 社会保障等の充実



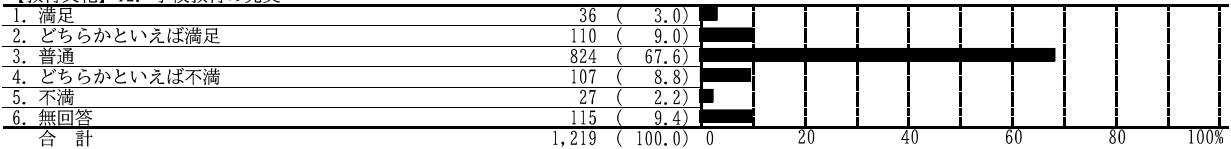
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】11. 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上



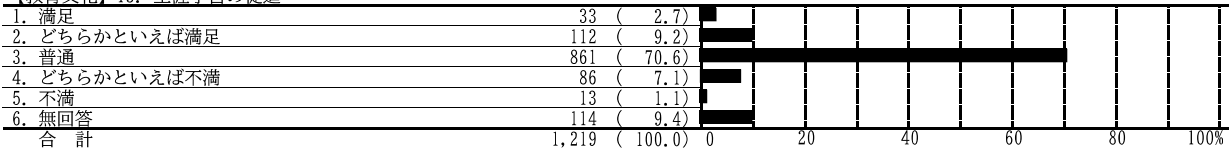
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】12. 学校教育の充実



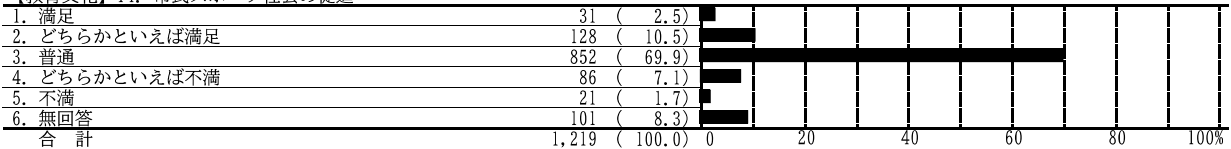
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】13. 生涯学習の促進



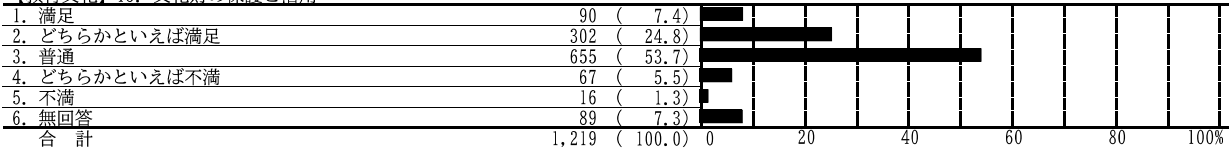
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】14. 市民スポーツ社会の促進



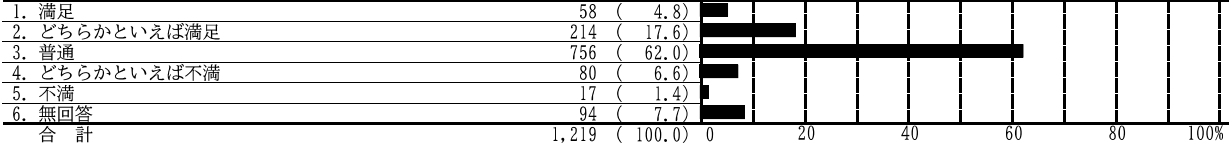
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【教育文化】15. 文化財の保護と活用



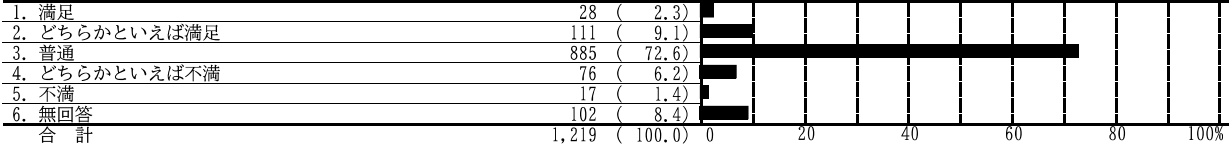
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】16. 自然と生活環境の調和



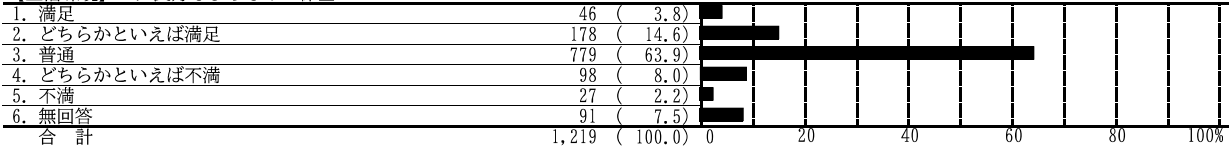
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】17. 循環型社会の促進



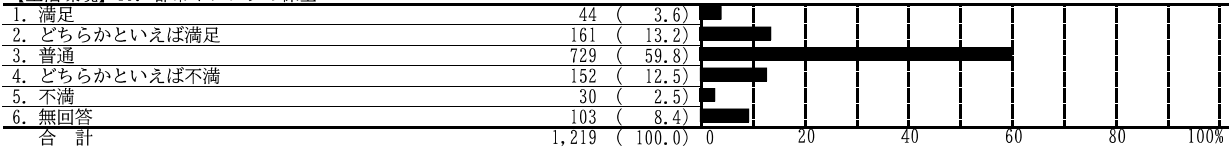
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】18. 良好なまちなみの保全



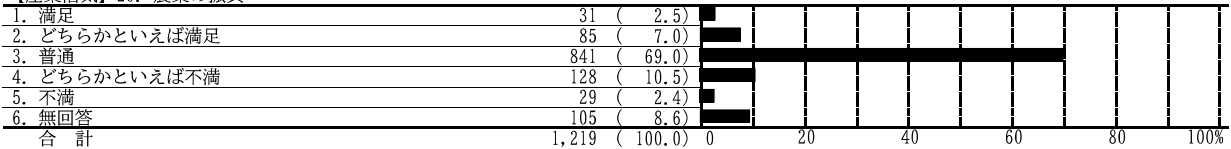
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【生活環境】19. 都市インフラの保全



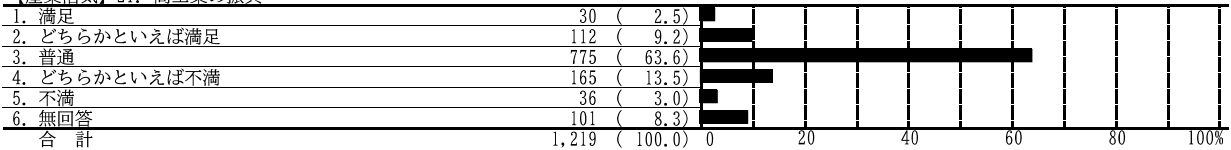
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【産業活気】20. 農業の振興



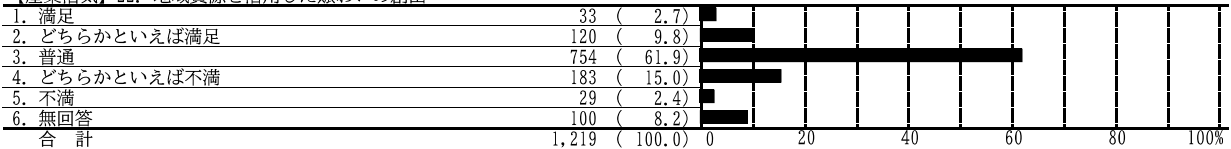
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【産業活気】21. 商工業の振興



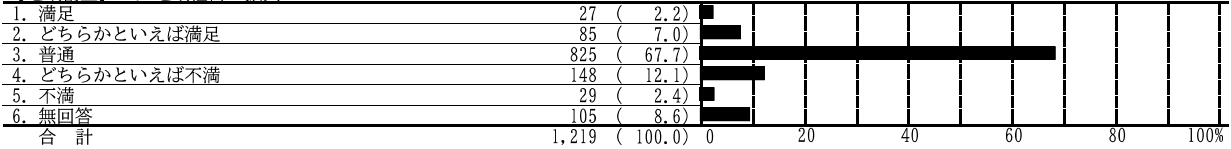
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【産業活気】22. 地域資源を活用した賑わいの創出



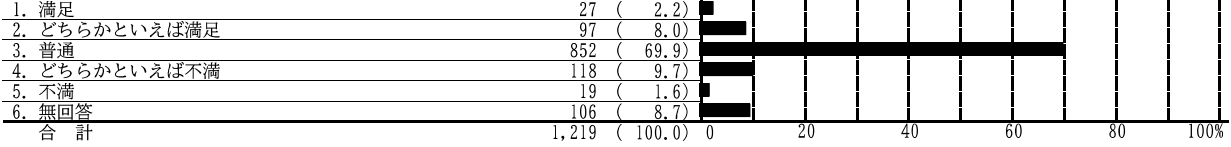
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】23. 地域経営の振興



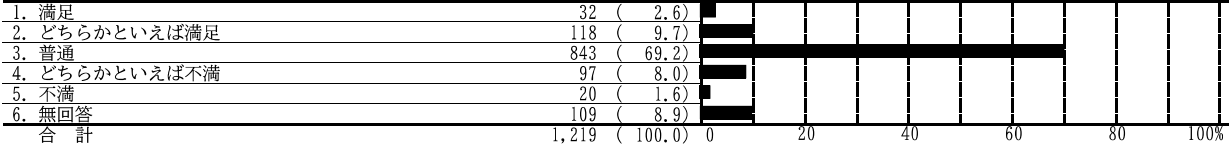
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】24. 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進



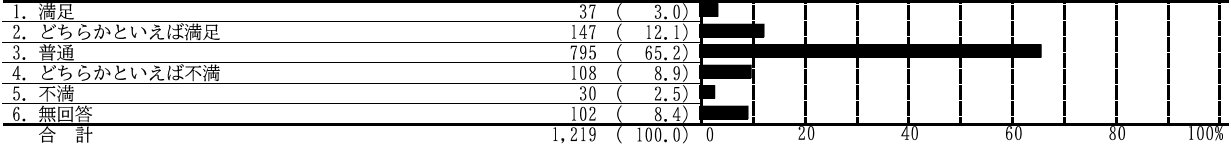
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】25. 地域資源を活用した市民文化の創造



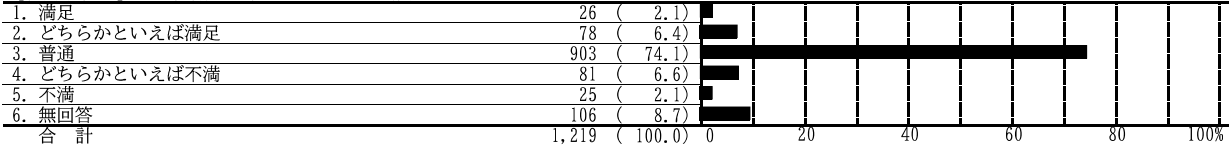
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】26. 適正な事務の執行と行政サービスの提供



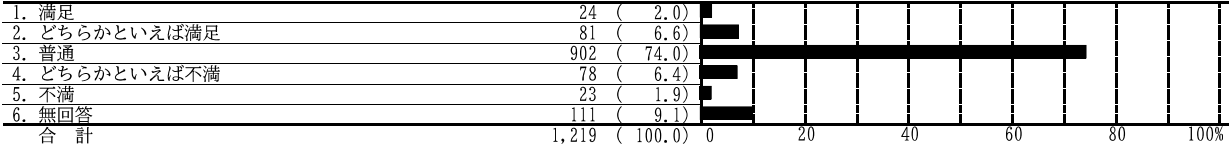
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】27. 組織・人事マネジメントの推進



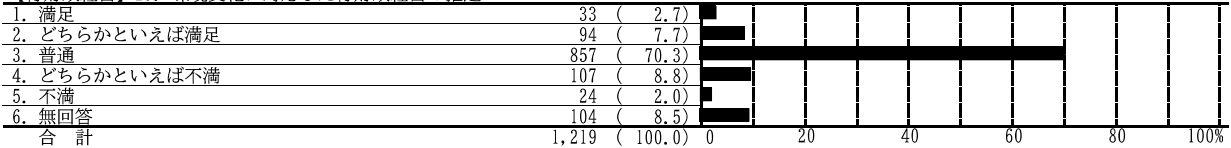
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】28. 健全な企業経営の推進



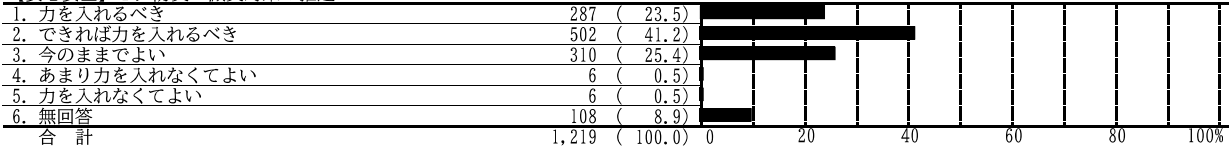
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】29. 環境変化に対応した行財政経営の推進



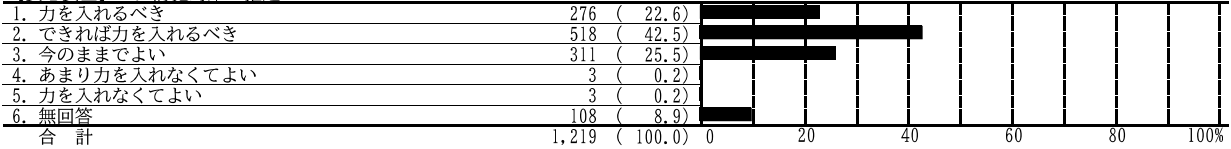
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】1. 防災・減災対策の推進



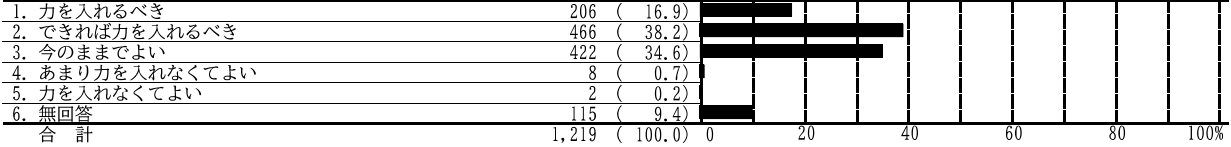
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】2. 防犯対策の推進



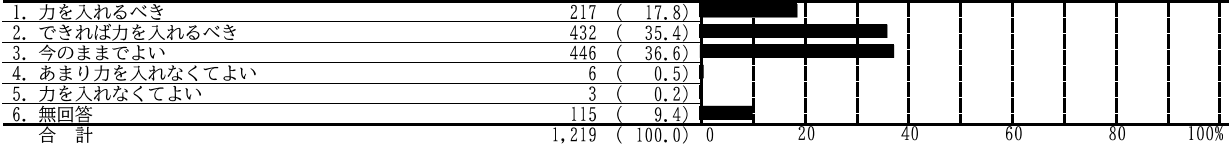
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】3. 安全な消費生活の確保



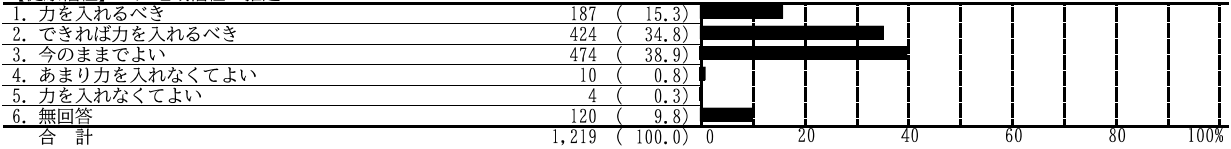
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】4. 交通安全対策の推進



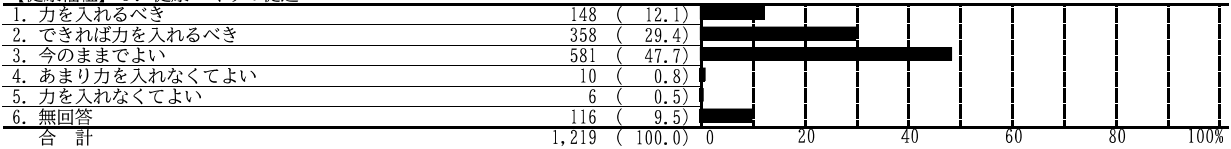
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】5. 地域福祉の推進



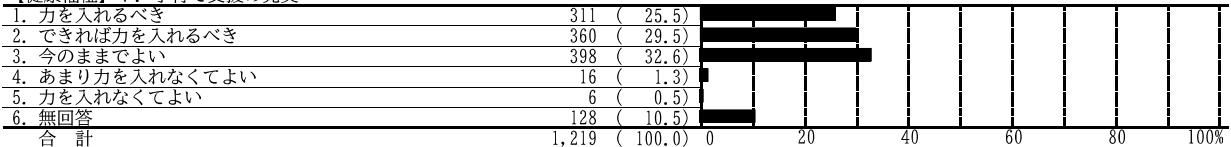
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】6. 健康づくりの促進



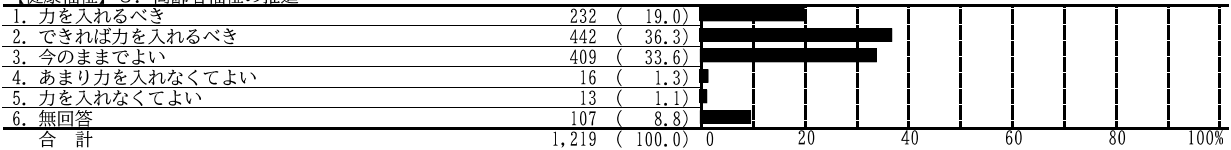
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】7. 子育て支援の充実



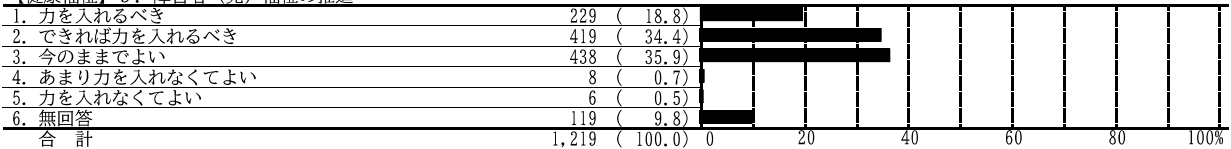
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】8. 高齢者福祉の推進



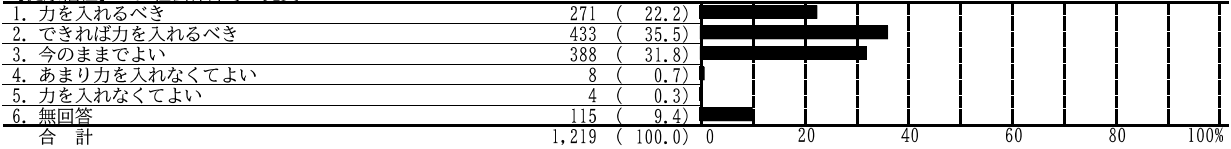
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】9. 障害者（児）福祉の推進



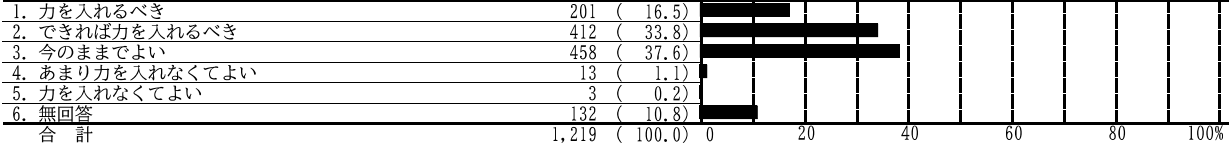
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】10. 社会保険等の充実



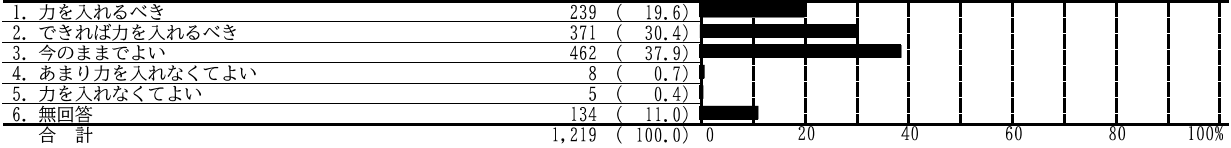
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】11. 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上



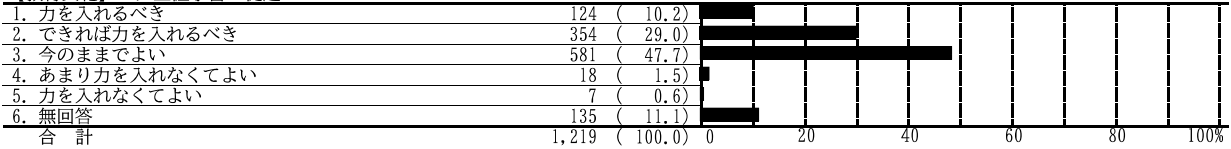
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】12. 学校教育の充実



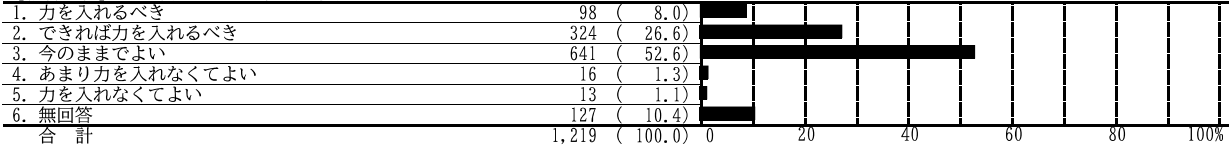
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】13. 生涯学習の促進



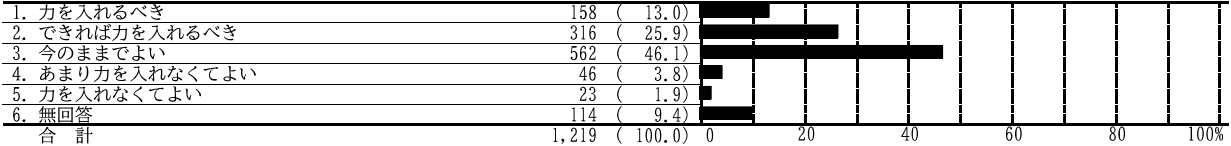
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】14. 市民スポーツ社会の促進



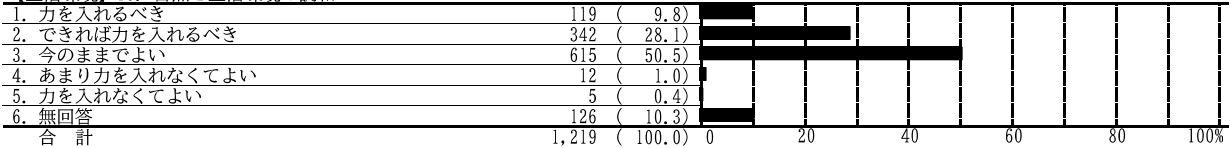
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】15. 文化財の保護と活用



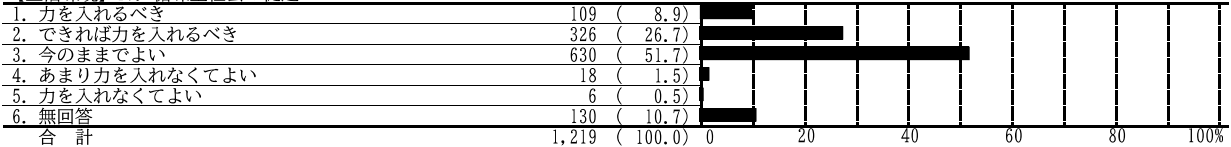
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】16. 自然と生活環境の調和



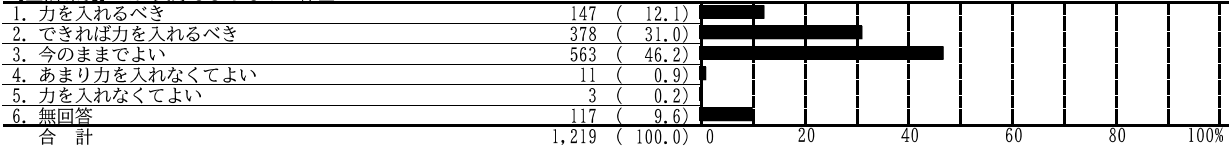
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】17. 循環型社会の促進



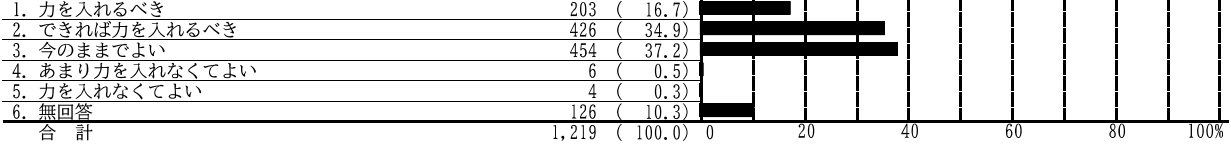
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】18. 良好なまちなみの保全



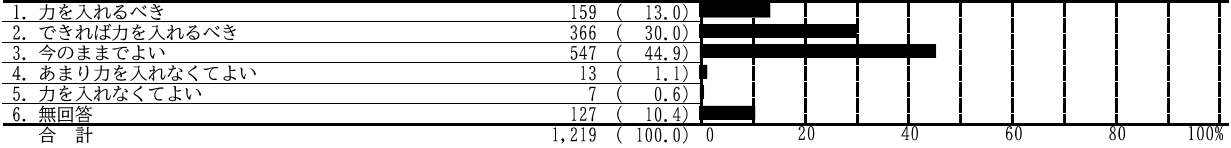
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】19. 都市インフラの保全



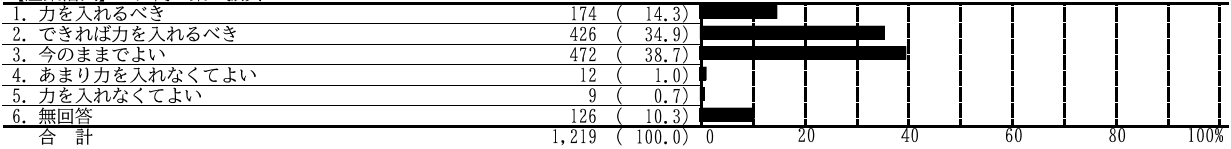
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】20. 農業の振興



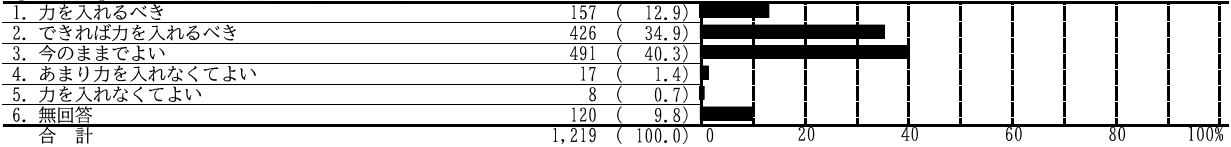
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】21. 商工業の振興



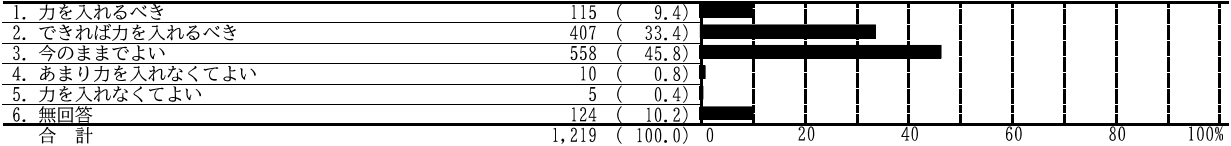
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】22. 地域資源を活用した賑わいの創出



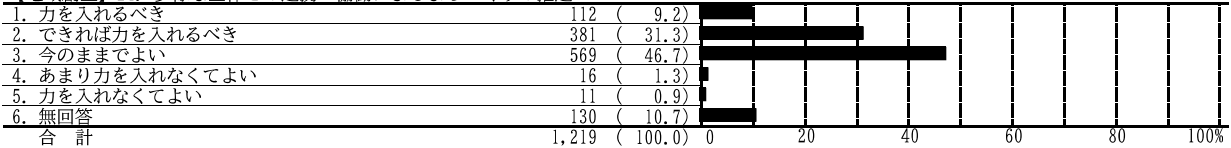
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】23. 地域経営の振興



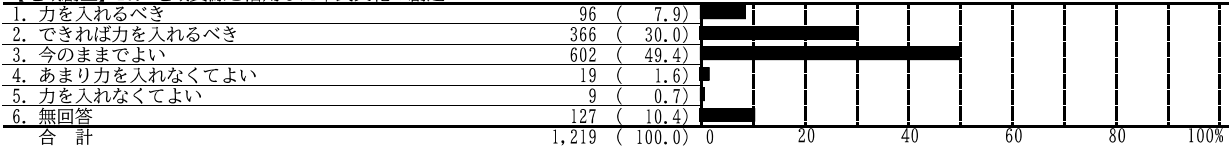
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】24. 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進



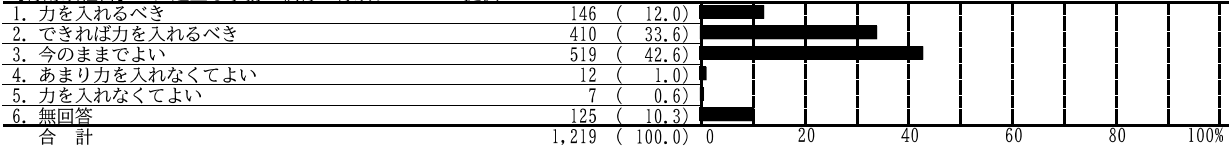
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】25. 地域資源を活用した市民文化の創造



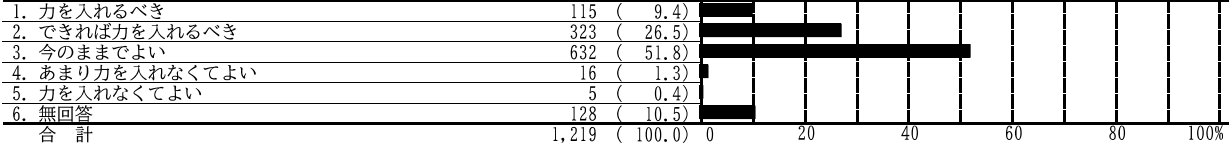
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】26. 適正な事務の執行と行政サービスの提供



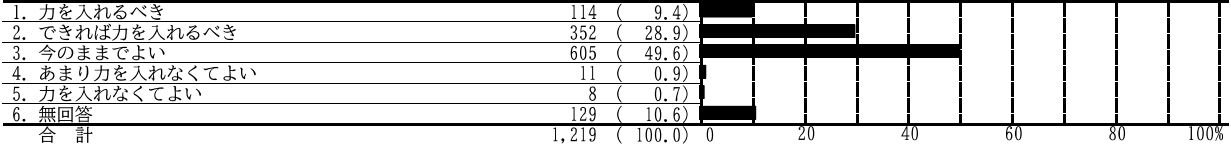
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】27. 組織・人事マネジメントの推進



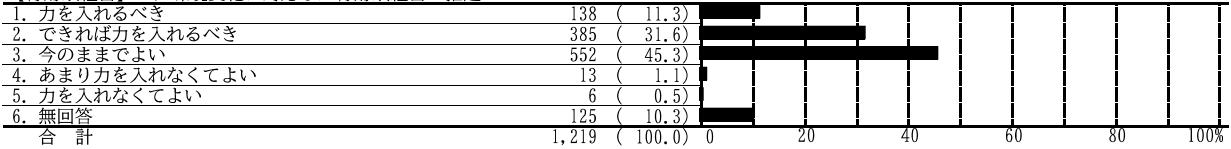
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】28. 健全な企業経営の推進

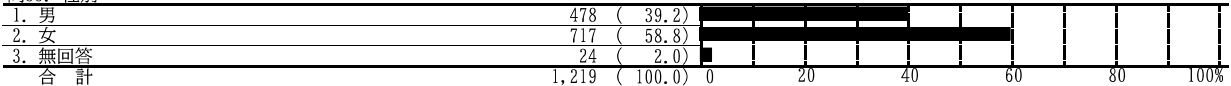


問54. まちづくりについて「今後の重要度」

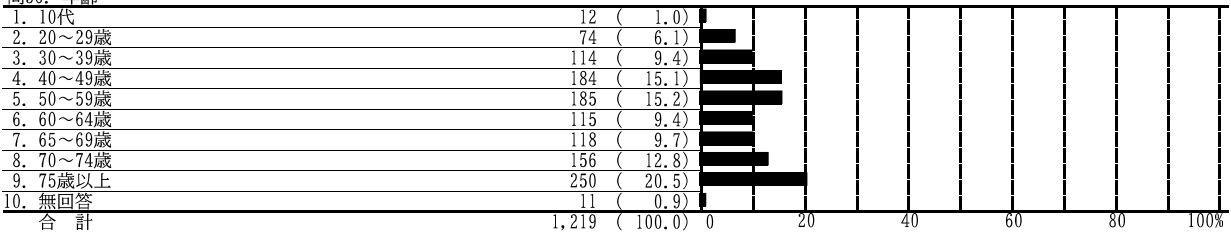
【行財政経営】29. 環境変化に対応した行財政経営の推進



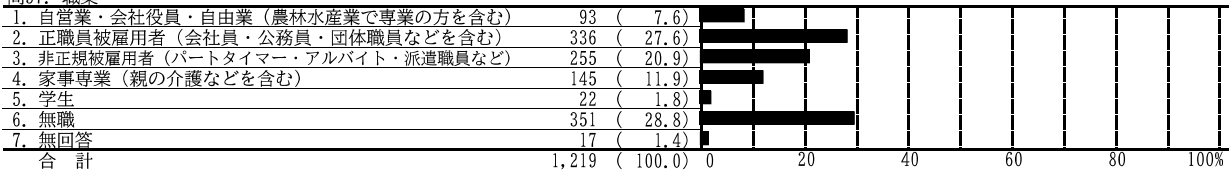
問55. 性別



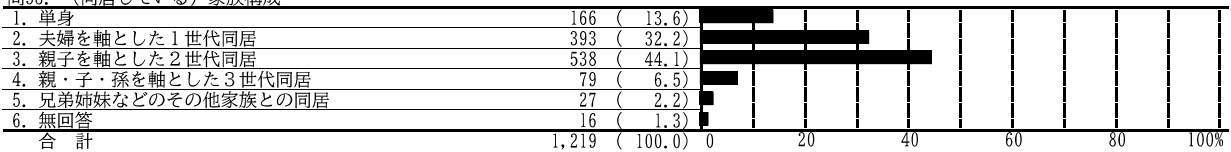
問56. 年齢



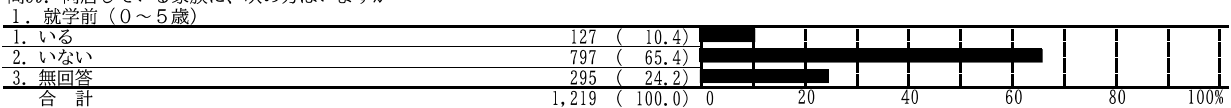
問57. 職業



問58. （同居している）家族構成

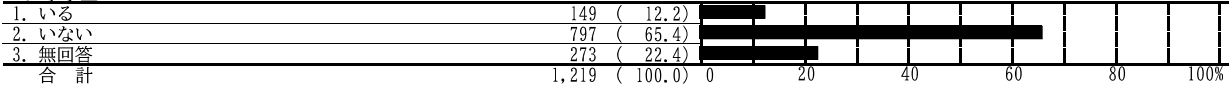


問59. 同居している家族に、次の方はいますか



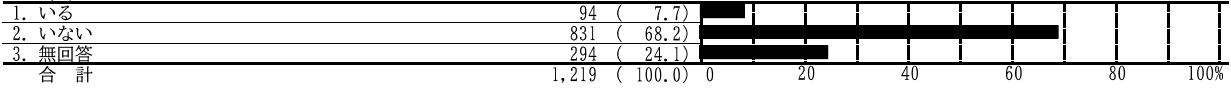
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

2. 小学生



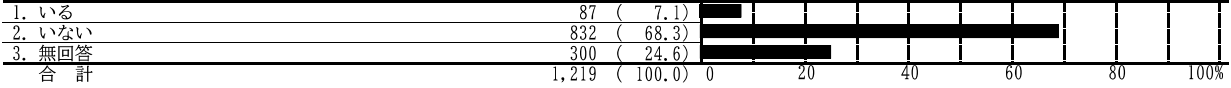
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

3. 中学生



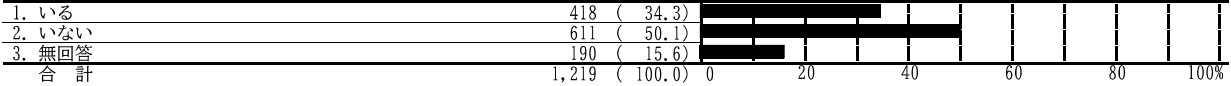
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

4. 高校生



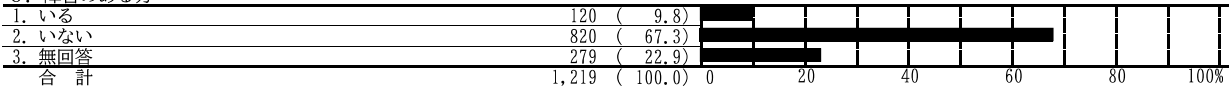
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

5. 65歳以上の方

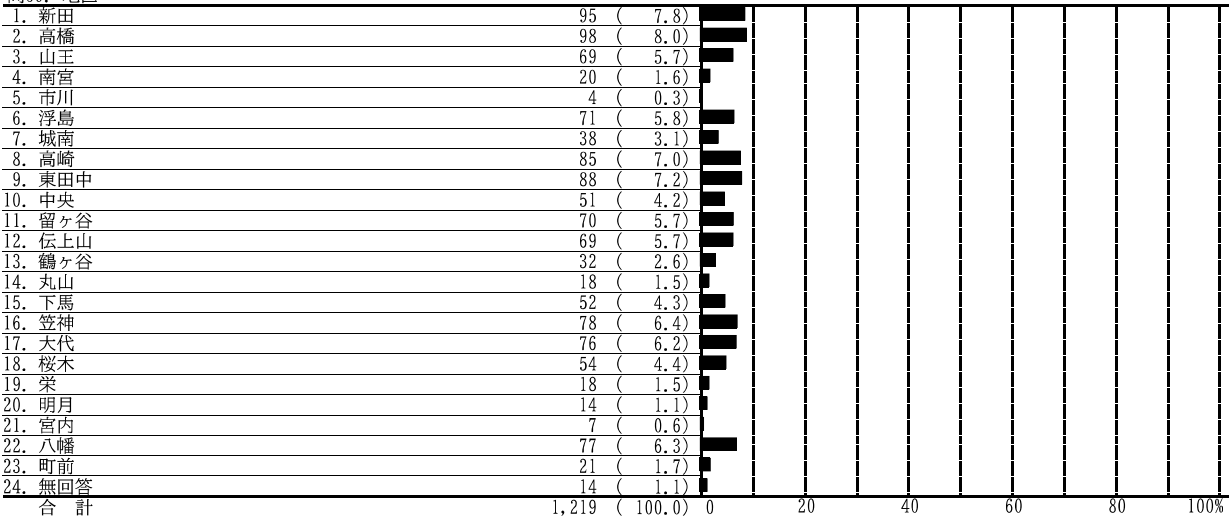


問59. 同居している家族に、次の方はいますか

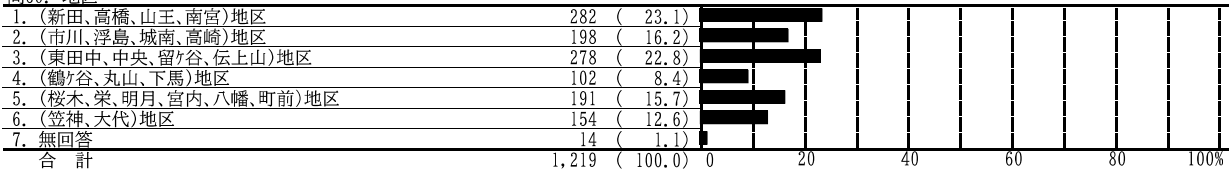
6. 障害のある方



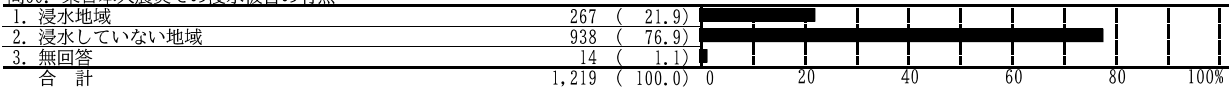
問60. 地区



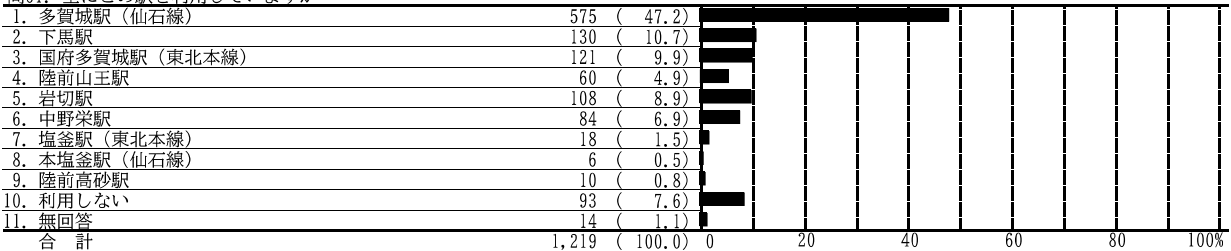
問60. 地区



問60. 東日本大震災での浸水被害の有無



問61. 主にどの駅を利用していますか



調査方法

